

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Mobile クライアント 2024 R2

ユーザーマニュアル



内容

著作権、商標、および免責条項	5
概要	6
新機能	6
XProtect Mobileのサーバーおよびクライアントコンポーネントについて（説明付き）	10
XProtect AccessおよびXProtect Mobile（説明付き）	11
要件と検討事項	14
はじめに（システム管理者向け）	14
音声を聞くための要件	14
プッシュ・トゥ・トークの使用要件	15
ビデオプッシュ使用の要件	16
共有を使用する要件	16
ダイレクトストリーミングの要件	16
インストール	17
XProtect Mobile Serverコンポーネントのインストール（システム管理者用）	17
モバイルデバイスでXProtect Mobileをインストールする	19
設定	20
サーバー上でユーザープロファイルを設定する（システム管理者向け）	20
アプリの言語を選択	20
ボタンと設定の概要	20
モバイルサーバーの接続設定（説明付き）	30
モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する	32
モバイルサーバーへの接続の表示と編集	35
XProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する	36
通知の有効化または無効化	37
外部IDPとXProtect Mobileクライアント（説明済み）	39
生体認証またはデバイスの認証情報を使ったアプリの保護（説明付き）	39
モバイルデバイスからのビデオのストリーム（説明付き）	40
モバイルデバイスでのビデオストリームの設定	40

受信音声の再生（説明付き）	41
プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）	42
モバイルデバイス管理（MDM）（説明済み）	43
ダイレクトストリーミング（説明付き）	44
アダプティブストリーミング（説明付き）	45
タブレットのグリッドレイアウトの変更	45
操作	46
ログインとログアウト	46
XProtect Mobileクライアントでパスワードを変更する	49
ライブビデオを閲覧する	50
XProtect Mobileクライアントのスマートマップ（使用）	52
スマートマップ（説明付き）	52
スマートマップに移動する	53
スマートマップ上のカメラ（説明付き）	53
ズームインまたはズームアウト	53
スマートマップ上のロケーション	54
スマートマップ上のカメラの視野（Android）	55
スマートマップ上のアラーム	56
スマートマップで1台のカメラからライブビデオを表示する	56
スマートマップでクラスタ内のすべてのカメラのライブビデオを表示する	56
スマートマップに表示されているすべてのカメラのライブビデオを表示する	56
ブックマーク（使用）	57
ブックマーク（説明付き）	57
ブックマークのビデオクリップを再生、ブックマークを共有、またはブックマークの詳細を表示する	57
ブックマークを追加または編集する	59
ブックマークを削除	60
フィルターを使用する	61
ビューのフィルター	61
ブックマークをフィルターする	61
全画面でライブビデオを操作する	64

PiP（使用）	65
再生モードでPiPを使用する	65
バックグラウンドPiPを使用する	66
スナップショットの作成	67
ビデオ録画の検索と表示	67
再生タイムラインの使用（説明付き）	69
調査の表示または作成	72
デバイスから監視システムにビデオをストリーミングする	73
アラームの表示とアクション	75
XProtect Mobileの緊急アラート	76
XProtect Mobileでアクションを使用する	77
アクションの表示と起動	78
通知に応答する	78
ドア表示して対応する	78
アクセスリクエストへの対応	79
入退室管理イベントの調査	81

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2024 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル`3rd_party_software_terms_and_conditions.txt`をご参照ください。

概要

新機能

XProtect Mobileクライアント2024 R2

AndroidおよびiOSユーザーの場合

- タブレットで、カメラのグリッドレイアウトを1列、2列、または3列に変更することで、アプリがカメラを視覚的にどのように表現するかを調整できるようになりました。

XProtect Mobileクライアント2024 R1

AndroidおよびiOSユーザーの場合

スマートマップ上のアラーム：

- スマートマップでは、カメラに関連付けられた新しいアラームが表示され、アラームの詳細を確認できるようになりました。この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト () の製品概要ページにあります。詳細については、[52 ページのXProtect Mobileクライアントのスマートマップ（使用）](#)をご参照ください。

XProtect Mobileクライアント2023 R3

AndroidおよびiOSユーザーの場合

アラーム

- 緊急アラート機能により、潜在的な脅威が検出されたときに、重大度の最も高いアラーム通知を受信し、アラームの詳細を表示し、直ちに対処できます。時間を節約するため、このタイプのアラームはアラームの詳細画面で直接確認できます。詳細については、[76 ページのXProtect Mobileの緊急アラート](#)をご参照ください。
- アラームの詳細画面で、ソースカメラのビデオを直接再生できるようになりました。詳細については、[75 ページのアラームの表示とアクション](#)をご参照ください。

Androidユーザーの場合

スマートマップ上のカメラの視野

- スマートマップで、カメラの視野の幅と奥行きを確認できるようになりました。カメラアイコンの視野は、実際のカメラの視野を反映し、特定のカメラでカバーされている範囲を示します。詳細については、[52 ページのXProtect Mobileクライアントのスマートマップ（使用）](#)をご参照ください。

XProtect Mobileクライアント2023 R2

AndroidおよびiOSユーザーの場合

ライブビデオの共有

- XProtect Mobileアプリを使用したVMSでどのカメラからでもライブビデオを共有できるようになりました。同僚と簡単かつ迅速に連携できるようになります。詳細については、[50 ページのライブビデオを閲覧するお](#)よび[16 ページの共有を使用する要件](#)を参照してください。

スマートマップ上のロケーション

- 最も近い場所にあるカメラのビデオを簡単に見つけ、表示できるよう、スマートマップ上で現在のロケーションを確認できるようになりました。この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト () の製品概要ページにあります。詳細については、[52 ページのXProtect Mobileクライアントのスマートマップ \(使用\)](#) をご参照ください。

スマートマップにすべてのカメラを含むグリッドビューを表示可能

- スマートマップ上の可視領域にあるすべてのカメラのグリッドビューでライブビデオを視聴できるようになりました。この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト () の製品概要ページにあります。詳細については、[52 ページのXProtect Mobileクライアントのスマートマップ \(使用\)](#) をご参照ください。

XProtect Mobileクライアント2023 R1

AndroidおよびiOSユーザーの場合

XProtect Mobileのスマートマップ

- モバイルデバイスから、世界中の複数のロケーションにあるVMSのデバイス（カメラなど）を表示し、それらにアクセスできるようになりました。この機能は、特定のXProtect VMS製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWebサイト (<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>) の製品概要ページにあります。

詳細については、[52 ページのXProtect Mobileクライアントのスマートマップ \(使用\)](#) をご参照ください。

ブックマークの共有

- XProtect Mobileアプリを使ってブックマークを共有し、同僚と簡単かつ迅速に連携できるようになりました ([57 ページのブックマーク \(使用\)](#) を参照)。

Androidユーザーの場合

バックグラウンド ピクチャーインピクチャー (PiP) モード

- バックグラウンド ピクチャーインピクチャー モードでは、モバイルデバイスの他のコンテンツを閲覧しながらライブビデオを引き続き表示できます ([65 ページのPiP \(使用\)](#) を参照)。

生体認証またはデバイスの認証情報の拡張使用

- アプリのセキュリティをさらに向上させるために、モバイルサーバーを編集または削除する前に、生体認証またはデバイスの認証情報を使用できます。

スクリーンショットの許可

- アプリ使用中に、モバイルデバイスの電源ボタンと音量ダウンボタンを同時に押すと、スクリーンショットを撮ることができます。

XProtect Mobileクライアント2022 R3

AndroidおよびiOSユーザーの場合

外部IDPを使ってログインします。

- 外部IDPを使用してXProtect Mobileアプリにログインすることができます。このログイン方法では、基本ユーザーまたはWindowsユーザーに必要なログイン認証情報をバイパスして、アプリへのアクセス許可を得ることができます。詳細については、[39 ページの外部IDPとXProtect Mobileクライアント（説明済み）](#)をご参照ください。

新しいユーザーエクスペリエンス

- 2通りの方法でログインできるようになりました。
 - **サーバーを追加**画面で、サーバーの詳細情報を入力してログインを続行するか、詳細情報を保存して後でログインを続行するか選択できます。詳細については、[32 ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)をご参照ください。
 - **ログイン**画面で、ユーザー認証情報を入力するか、外部IDPを使ってログインするか選択できます。詳細については、[46 ページのログインとログアウト](#)をご参照ください。
- 新規ユーザーメニューには、以下のボタンおよび設定があります。
 - **ログアウト**
 - **パスワードを変更**
 - **サーバーから切断**
 - **アプリの設定に移動**

詳細については、[20 ページのボタンと設定の概要](#)をご参照ください。

生体認証またはデバイス認証を使ったアプリの保護

- アプリを開く前に、生体認証またはデバイス認証情報を使って本人確認ができるようになりました。指紋、顔認証、デバイスの認証情報に基づく迅速な認証によりXProtect Mobileクライアントへのアクセスが容易になり、アプリのセキュリティが改善されています。詳細については、[39 ページの生体認証またはデバイスの認証情報を使ったアプリの保護（説明付き）](#)を参照してください。

モバイルデバイスの管理（MDM）

- XProtect Mobileクライアントがモバイルデバイスの管理（MDM）に対応しました。MDMを利用することで、デバイス、アプリ、データを1つの統合されたコンソールから管理および保護することができます。詳細については、[43 ページのモバイルデバイス管理（MDM）（説明済み）](#)をご参照ください。

通知

- 通知を受け取るために、ユーザー認証情報を保存する必要がなくなりました。ユーザー認証情報が保存されていない場合は、受信した通知を開く前に、毎回、ログイン方法として認証情報を入力するか、外部IDPを使用するよう求められます。

- 通知を受け取るには、アプリレベル（Android）、モバイルデバイス、およびサーバーレベルで通知設定を有効にする必要があります。

詳細については、[37 ページの通知の有効化または無効化](#)をご参照ください。

Androidユーザーの場合

タイムピッカー（Android）

- タイムピッカーのインターフェイスが新しくシンプルになりました。詳細については、[69 ページの再生タイムラインの使用（説明付き）](#)をご参照ください。

XProtect Mobileクライアント2022 R2

通知

- デフォルトでは、通知はサーバーの追加時に無効になっています。詳細については、[37 ページの通知の有効化または無効化](#)をご参照ください。

XProtect Mobileクライアント2022 R1

ブックマーク：

- ブックマークの開始時間、イベント時間、終了時間を編集できます。
- 特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルターを使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります。
 - ブックマークの見出しまたは説明に含まれるキーワードを入力したり、完全なブックマークIDを入力することができます。
 - 指定のカメラを選択できます。
 - 定義済みタイムインターバルを選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。

ビデオ診断オーバーレイ

- この設定を有効にすると、選択したビューにFPS（フレーム数/秒）、コーデック、解像度、ビデオのストリーミングのタイプが表示されます。この機能は、情報をビデオのオーバーレイとして表示し、ビデオのストリーミングやパフォーマンスの問題に関連するXProtect Mobileクライアントの問題のトラブルシューティングをサポートします。

ダイレクトストリーミング

- この機能はXProtect Professional+とXProtect Express+でも利用できます。

アダプティブストリーミング

- この機能はXProtect Professional+とXProtect Express+でも利用できます。

XProtect Mobileのサーバーおよびクライアントコンポーネントについて (説明付き)



XProtect Mobileクライアントで、アプリで表示される時刻情報は、モバイルデバイスで設定されているタイムゾーンを引き継ぎます。これにはライブおよび再生モード、アラーム、ブックマークなどで表示される時刻が含まれます。

無料のXProtect Mobileアプリでは、次のことができます。

- ライブビデオとビデオ録画を閲覧する。すべてのカメラのライブビデオを同僚と共有できます。
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する。
 - 1台のカメラからライブビデオを見ながらプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用する。
 - 再生モードで受信音声と送信音声を再生する。
- ビデオプッシュを使用して、モバイルデバイスのカメラから音声付きライブビデオをXProtect監視システムにストリーミングする。
- ブックマークを使用して、ライブビデオやビデオ録画に関連するビデオシーケンスをすばやく見つける。まず同僚とブックマークを共有する。
- スマートマップ機能を使用して、モバイルデバイスを介して世界中の複数のロケーションにあるVMSのデバイス（カメラなど）を表示し、それらにアクセスする。
- 調査を作成する。
- ビデオ監視システムでイベントをトリガーするアクションを有効化する。
- 様々なイベントによりトリガーされるアラームのビデオを確認する。

XProtect Mobileには5つのコンポーネントがあります。

- XProtect MobileクライアントはAndroidまたはiOS デバイスでインストールして使用できるモバイル監視アプリです。必要に応じてインストールしたXProtect Mobileクライアントの数だけ使うことができます。詳細については、[17 ページのXProtect Mobile Serverコンポーネントのインストール（システム管理者用）](#)をご参照ください。
- XProtect Web Clientは、ウェブブラウザ内でのライブビデオ視聴または録画ダウンロードを可能にします
- XProtect Mobileサーバーは、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientユーザーにシステムへのアクセス権を付与します
- XProtect Mobile プラグイン
- Mobile Server Manager

XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientのシステムゲートウェイとして機能することに加え、このモバイルサーバーは、多くの場合大きすぎてクライアントユーザーが利用できる帯域幅に収まらないオリジナルのカメラビデオストリームのビデオをトランスコードできます。

XProtect Mobileはライブモードでのダイレクトストリーミングとアダプティブストリーミングに対応しています。

詳細は、XProtect Mobileサーバー [システムコンポーネント](#) の管理者マニュアルを参照してください。

XProtect AccessおよびXProtect Mobile（説明付き）



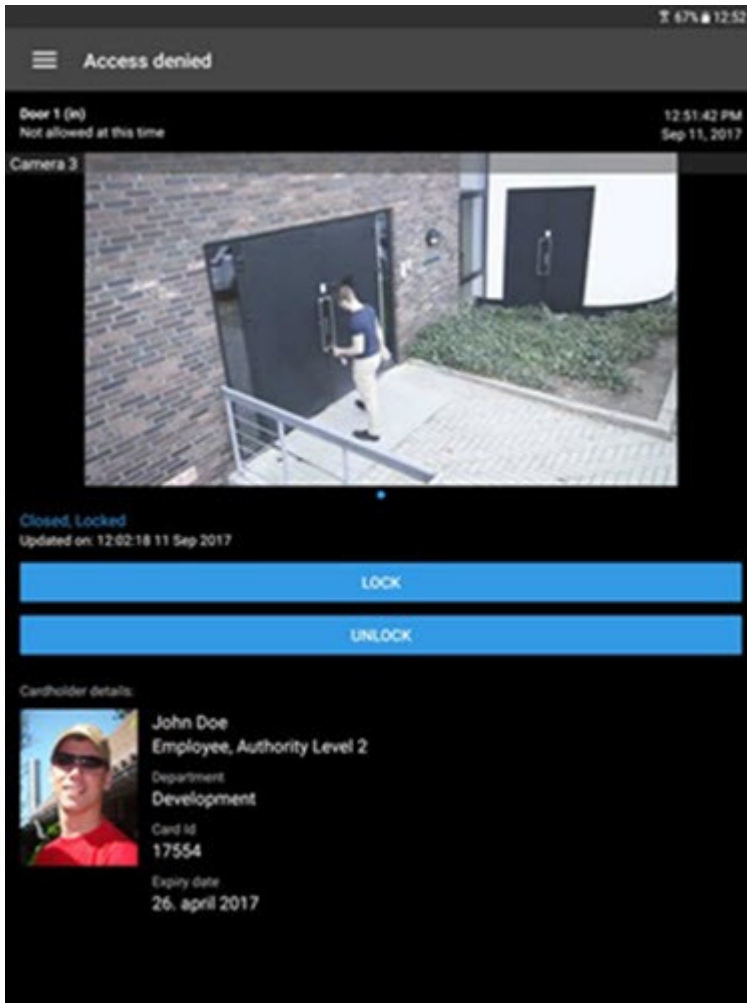
XProtect Accessを利用するには、XProtectシステムでこの機能にアクセスができるよう、基本ライセンスの購入が必要です。また、コントロールする各ドアについて、アクセスコントロールドアライセンスも必要です。

XProtect AccessとXProtect Mobileアプリがスマートフォンまたはタブレットにインストールされていると、以下が可能です。

- アクセスポイントでのイベントのライブ監視
- アクセスリクエストに対する、オペレータによる入室支援
- アクセスポイントでのイベントの調査
- ドアの状態の一元化された概要とコントロール
- カードホルダー情報

アクセスリクエスト

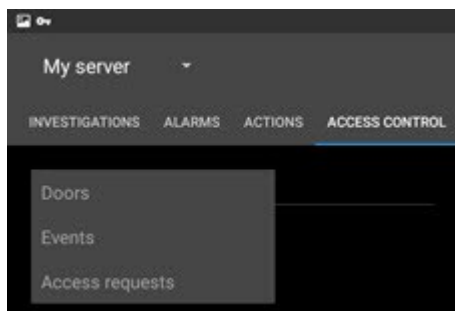
デバイスでアクセスリクエストを受信すると、以下のように表示されます。



アクセスリクエストにより以下が可能になります。

- 閉、ロック等のドアのステータスを表示する。
- ライブビデオを閲覧する。
- カードホルダーの詳細（写真や権限レベル）を表示する。
- ドアを施錠したり、カードホルダーのためにドアを解錠してアクセスを許可する。
- ライブモードで受信音声を再生する。
- 1台のカメラからライブビデオを見ながらプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用する。

アクセスリクエストの下にアクセスリクエストが2分間一覧表示されます。その後は、**イベントリスト**にのみ表示されます。このリストでは、カードホルダーがアクセスを試みた際に録画されたビデオを再生できます。



要件と検討事項

はじめに（システム管理者向け）

XProtect Mobileアプリを入退室管理の目的で使用するには、以下が必要です。

- Milestone Care Plusサービス契約
- XProtect Accessを使用するために必要なライセンスこれには、各ドアの基本ライセンスとドアライセンスが含まれます。
- VMSに設定、統合された入退室管理システム
- 下記にリストされている製品のいずれか1つを使用している場合は、入退室管理とアクセスリクエストが可能となるよう、ユーザープロファイルを設定する必要があります。
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+

XProtect Essential+を使用している場合は、[20 ページのサーバー上でユーザープロファイルを設定する（システム管理者向け）](#) も参照してください。

- App Store[™] またはGoogle PlayからアプリXProtect Mobileをダウンロードして、スマートフォンまたはタブレットにインストールする必要があります。
- XProtect Mobileアプリケーションでは
 1. モバイルサーバーのサーバー設定を指定する必要があります（[32 ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)を参照）。
 2. サーバー設定で、アクセスリクエスト通知を有効にする必要があります（[36 ページのXProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する](#)を参照）。



オペレータのログインが必要オプションを有効にした場合、XProtect Mobileクライアントでは入退室管理システムを使用できません。詳細は、XProtect Mobileサーバーシステムコンポーネントの管理者マニュアルを参照してください。

音声を聞くための要件

モバイルデバイスを介してXProtectVMSのカメラの受信音声を聞くには、以下が必要です。

- マイクがカメラに接続されている。



監視システムのカメラにマイクが接続されている場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーの音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを示します。

- 十分なユーザー権限。



受信音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によっては制限されていることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- CA認証接続ができるHTTPまたはHTTPS。

HTTPS 接続を使用したい場合は、認証局（CA）からのデジタル証明書をXProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。



CAはユーザーの身元とインターネット上でデータを交換するwebサイトをデジタル認証します。例えば、Comodo、Symantec、GoDaddyなどの企業がCAとなっています。証明書に関する詳細は、証明書に関するガイドで暗号化の有効化に関するトピックをご確認ください。

プッシュ・トゥ・トークの使用要件

プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能をXProtectVMSのモバイルデバイスで使用するには、以下が必要です。

- スピーカー付きカメラ。
- 十分なユーザー権限。



ユーザー権限によっては、プッシュ・トゥ・トーク機能へのアクセスが制限される場合があります。ご不明点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- モバイルデバイスのマイクの使用を許可したXProtect Mobileアプリ。
- CA認証接続ができるHTTPまたはHTTPS。

HTTPS 接続を使用したい場合は、認証局（CA）からのデジタル証明書をXProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。

ビデオプッシュ使用の要件

ビデオ プッシュを使用して音声付きのビデオをストリームするには、XProtect Mobileアプリがモバイルデバイスのカメラとマイクにアクセスするのを許可してください。

共有を使用する要件

XProtect Mobileのアプリで、ブックマークやライブビデオなどのアイテムを同僚と共有できます。共有機能の使用条件は以下の通りです。

- アイテムを共有するために、システム管理者はマネジメントサーバーで暗号化を有効にしておく必要があります。
- 共有アイテムを表示するために、そのアイテムの送信元サーバーをXProtectMobileアプリのサーバーリストに追加しておく必要があります。また、このビデオの発信元のカメラを表示するためのユーザー権限も必要です。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Mobileは、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニターできます。これには以下が必要です。

- H.264またはH.265コーデックに対応しているカメラを使用します。
- モバイルデバイスでダイレクトストリーミングを許可します（[20 ページのボタンと設定の概要](#)を参照）。

詳細は、XProtect Mobileサーバー [システムコンポーネント](#) の管理者マニュアルを参照してください。

インストール

XProtect Mobile Serverコンポーネントのインストール（システム管理者用）

この情報は主にシステム管理者向けです。詳細は、XProtect Mobileサーバーシステムコンポーネントの管理者マニュアルを参照してください。

バージョン2013およびそれ以降のバージョンのXProtect製品をインストールする際は、XProtect Mobile Serverコンポーネントをインストールできます。

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+

- Milestone Husky
- Milestone Arcus

XProtect Mobileを最大限に活用するには、必ず最新バージョンのVMS製品を使用してください。製品についての情報は、MilestoneWebサイト（<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>）で入手できます。

XProtect Mobile Serverは、MilestoneWebサイト（<https://www.milestonesys.com/downloads/>）のダウンロードページから無料でダウンロードすることもできます。

XProtect Mobile Serverコンポーネントをインストールする場所

監視システムを実行するコンピュータまたは専用コンピュータ上にXProtect Mobile Serverコンポーネントをインストールします。

システムに10台以上のカメラを設置し、ビデオを同時に表示する場合、Milestoneは専用コンピュータにXProtect Mobile Serverをインストールするよう推奨しています。

XProtect Mobileサーバーはさまざまな方法でインストールできます。

XProtect製品	インストール方法	
	VMSと同一のコンピュータ上にインストール	専用コンピュータにインストール
• XProtect Corporate • XProtect Expert • XProtect Professional+ • XProtect Express+ • XProtect Essential+	XProtectVMSソフトウェアの シングルコンピュータ インストールを実行します。このインストールにはXProtect Mobile Serverが含まれます。	別のXProtect Mobile Serverインストーラを実行します。

XProtect Mobileプラグインコンポーネントのインストール

ManagementClientを実行するすべてのコンピュータにXProtectMobileプラグインをインストールする必要があります。

1. XProtect Mobileインストーラを実行します。
2. **カスタム**インストールを選択し、プラグイン（32ビットまたは64ビット）を選択します。両方インストールしてもかまいません。
3. Management Clientを再起動します。

オペレーティングシステム

XProtect Mobileは次のモバイル デバイス向けオペレーティング システムをサポートします。

オペレーティングシステム	デバイス
Android 10.0以降	Androidをインストールしたスマートフォンやタブレット
iOS 15.2以降	iPhone、iPad、iPod Touch

モバイルデバイスでXProtect Mobileをインストールする

モバイルデバイスで、Google PlayまたはApp StoreTM からXProtect Mobileアプリケーションを無料でダウンロードできます。

1. 「XProtect Mobile」を検索してApp Storeでアプリを見つけ、モバイルデバイスにインストールします。

XProtect Mobileのロゴアイコンがデバイスの画面に表示されます。

2. XProtect Mobileを実行するには、このアイコンをタップします。



デフォルトでは、Milestoneデモサーバーがインストールを行います。サーバーを使用して、アプリをテストします。サーバーはテスト用であるため一部の機能はご利用いただけません。たとえば、PTZ（パン/チルト/ズーム）コントロールを使用できません。

デモサーバーを削除または編集することはできませんが、サーバーリストで非表示にすることは可能です。サーバーを非表示にするには**〔設定〕**に移動し、**〔全般〕**で**〔デモサーバーを非表示〕**設定を有効にします。

カメラからビデオを表示するには、アプリを1つ以上のモバイルサーバーに接続してください（[32 ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)を参照）。

設定

サーバー上でユーザープロファイルを設定する（システム管理者向け）

XProtect Mobileのユーザーが入退室管理を使用してアクセスリクエストをスマートフォンやタブレットに表示して対応できるように、特定のユーザー権限を有効にする必要があります。お使いになっているVMSに応じて、設定はわずかに異なります。

Management Clientで、以下を実行します。

1. **セキュリティ**を展開し、**役割**を選択します。
2. 変更したい役割を選択してください。
3. **役割設定**で、**入退室管理**タブをクリックします。
4. 次のチェックボックスがまだ選択されていない場合は、選択します。
 - **入退室管理の使用** - 入退室管理機能をXProtect Mobileで表示するために必要です
 - **通知を受信** - プッシュ通知としてアクセスリクエストを受信するために必要となります
5. 必要な役割ごとに、上記の手順を繰り返します。
6. 変更を保存します。

アプリの言語を選択

デフォルトでは、XProtect Mobileアプリはデバイスの言語を使用します。たとえば、デバイスがフランス語を使用している場合は、XProtect Mobileクライアントはフランス語で表示されます。

他の言語を使用するには、デバイスの言語を変更します。その後、XProtect Mobileアプリを再起動して変更内容を適用します。



特定の言語でXProtect Mobileクライアントを使用するには、デバイスがその言語をサポートしていません。

ボタンと設定の概要

このトピックでは、XProtect Mobileアプリのボタンと設定についてリストアップしながら説明します。アプリでの操作方法がわからないアイテムがある場合は、ここを参照できます。

アプリを起動すると、以下のボタンおよび設定からなる**サーバー**画面が表示されます。

名前	説明
サーバーを追加 (Android)	使用可能なモバイルサーバーがないかローカルネットワークをスキャンします。XProtect Mobileクライアントには、UPnPに基づいてXProtect Mobileサーバーを検索するスキャン機能があります。
 (Android) 編集 (iOS)	サーバーを追加 (iOS) - モバイルサーバーがないかローカルネットワークをスキャンします。 編集 - サーバーの設定を編集します。 削除 - サーバーをリストから削除します。 接続/切断 (Android) - モバイルサーバーに接続するか、現在接続中のサーバーを切断します。
 (Android) 設定 (iOS)	表示または変更 一般設定 起動状態を維持 - ビデオのストリーミング中も画面を起動したままにします。 デモサーバーを非表示 - デモサーバーがサーバーリストに表示されないようにします。 使用データを提供する (Android) - 優れたサービスを提供する上で役立ちます システムを欧州 GDPR に準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。データ保護と使用状況データの収集の詳細については、GDPR プライバシーガイドを参照してください。 プッシュ通知 (Android) - アプリでのプッシュ通知の受信を有効にします。 プッシュ通知を受信するには、モバイルデバイスとモバイルサーバーでアプリの通知設定を有効にする必要もあります (37 ページの通知の有効化または無効化を参照)。 このアプリのために生体認証またはデバイスの認証情報の使用を有効にする - 生体認証センサーまたはデバイスの認証情報を使用して、アプリを開く前 (AndroidおよびiOS)、またはモバイルサーバーを編集または削除する前に (Android) アプリのロックを解除します。アプリでこの機能を利用するには、モバイルデバイスで生体認証機能とセキュリティに関する設定を有効にする必要があります。

名前	説明
	ビデオ画質設定 フレーム数/秒 - FPSを下げることで帯域幅の使用が抑えられます。 帯域幅または画質の最適化 - 帯域幅の使用を抑えることができます。画質の向上を無効にします。 低いビデオ解像度を使用 - より高いFPSレートを使用できるようになります。 デバイスへのダイレクトストリーミングを許可 - ビデオ画質が向上します。ダイレクトストリーミングは、サーバーで有効になっている場合にのみ使用可能です。 複数のカメラからのライブビデオでのみキーフレームを使用 - キーフレームのみを使用できるようにし、CPU使用率を削減します。無効にすると、すべてのフレームと高いFPSレートが使用されます。 ビデオ診断オーバーレイ - 有効にすると、選択したビューにFPS（フレーム数/秒）、コーデック、解像度、ビデオのストリーミングのタイプが表示されます。この機能は、情報をビデオのオーバーレイとして表示し、ビデオのストリーミングやパフォーマンスの問題に関連するXProtect Mobileクライアントの問題のトラブルシューティングをサポートします。 管理設定 ビデオコントロールを自動的に非表示 - 操作が一定時間が行われないと、ビデオコントロールが自動的に非表示になります。 デフォルトのPTZコントロール - PTZコントロールの希望のデフォルト設定を選択します。 XProtect Mobileの使用について詳しくは、ヘルプリンクをタップして参照してください。

サーバーの追加をタップすると、以下の設定を含む**サーバーの追加**画面が表示されます。

名前	説明
サーバーをIDで追加	固有サーバーの識別子を使用してサーバーを追加します。この接続方法はアドレスブックサービスを使用するため、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です

名前	説明
	す。
サーバーを手動で追加	サーバーの名前と、そのIPアドレスまたはホスト名を入力し、XProtect Mobileクライアントとモバイルサーバーの接続に使用する接続の種類を選択します。デフォルトで、HTTPS接続が選択されています。

モバイルサーバーにログインすると、以下が実行可能です。

- 左上のユーザーメニューには、以下が含まれます。
 - ユーザー名とログインの認証方式。
 - **ログアウト** - ボタンをタップすると、サーバーからログアウトします。ログアウトすると、そのモバイルサーバー向けに保存されているユーザー認証情報が削除されます（[46 ページのログインとログアウト](#)を参照）。
 - **パスワードを変更** - 基本ユーザーはいつでもパスワードを変更できます（[49 ページのXProtect Mobileクライアントでパスワードを変更する](#)を参照）。
 - モバイルデバイスが現在接続しているモバイルサーバーの名称。
 - **サーバーから切断** - 現在接続しているサーバーとの接続を解除します（[32 ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)を参照）。
 - **アプリの設定に移動** - リンクをタップすると、XProtect Mobileアプリの設定に移動します。
- Androidの上部のバーおよびiOSの下部のタブには、通常、以下のオプションがあります。



オプションは、ManagementClientで表示する権限が付与されている場合のみ使用できません。

名前	説明
 (Android)	スマートマップ に移動すると、モバイルデバイスを使って世界中の複数の場所にあるVMSのデバイス（カメラなど）を表示し、それらデバイスにアクセスできます。この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。

名前	説明
 (iOS)	リストは、MilestoneWeb サイト (https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/) の製品概要ページにあります。
 (Android)  (iOS)	スマートマップでは、現在地マーカー付きで現在地が表示されます。スマートマップツールバーのロケーションボタンには、ロケーションのステータスとして以下が表示されます。  (Android) または  (iOS) - 現在地マーカーがロケーションの中心にあります。  (Android) または  (iOS) - 現在地マーカーがロケーションの中心にありません。  (Android) または  (iOS) - スマートマップに現在地は表示されていません。
 (Android)  (iOS)	スマートマップの表示領域のグリッドビューには、すべてのカメラのライブビデオを表示できます。スマートマップツールバーにグリッドビューボタンがあります。グリッドビューを閉じるには、 (Android) または 閉じる (iOS) をタップします。
 (Android)  (iOS)	カメラビューまたはブックマークをフィルターします。デフォルトでは、すべてのビューとブックマークが選択されています。
	ビューまたは特定のカメラを検索します。 - すべてのPTZカメラを検索するには、「ptz」と入力します。 - マイクに接続されたすべてのカメラを検索するには、「audio」と入力します。 - スピーカーに接続されたすべてのカメラを検索するには、「ptt」と入力します。

名前	説明
ビュー (Android)  (iOS)	ホーム画面でカメラの利用可能なビューを表示します。ビデオを再生するビューを選択します（ライブまたは録画）。利用可能なビューは、フォルダー内にまとめられています。  (Android)  (iOS) これらのフォルダーには、ビューのあるフォルダー、またはカメラの個別のビュー () (Android) または  (iOS)) を含めることができます。ビューにはカメラのみを含めることができます。
カメラ (Android)  (iOS)	すべてのカメラビューにリストされている利用可能なカメラを表示します。
調査 (Android)  (iOS)	XProtect Web ClientまたはXProtect Mobileクライアントで作成された調査を表示します。
ブックマーク (Android)  (iOS)	ブックマークのリストを表示します。以下も実行可能です。 - ブックマークの詳細を編集する -  (Android) または 編集 (iOS) 。 - ブックマークを共有する -  (Android) または  (iOS) 。 - ブックマークを削除する -  (Android) または 削除 (iOS) 。
アクション (Android)  (iOS)	出力とイベントにアクセスし、有効化します。
アラーム	アラームを表示または対応します。

名前	説明
(Android)  (iOS)	
 (Android)  (iOS)	ビデオプッシュを使用すれば、モバイルデバイスのカメラから音声付きビデオを監視システムにストリーミングできます。 以下を表示または変更するには、ビデオプッシュ画面で (Android) または設定 (iOS) に移動します。 • ビデオ解像度 - プッシュするビデオストリームの解像度を選択します。 • 自動画質 - 画質の自動調整を有効化します。この設定を無効にした場合、画質を低、中、高のいずれかに設定できます。 • ロケーションデータ - ビデオストリームにロケーションデータを追加します。 • XProtect Corporate • XProtect Expert • XProtect Professional+ • XProtect Express+ • XProtect Essential+

ライブモードでは、これらのボタンを使用することで以下が可能です。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	選択したカメラに対するアクションのリストが表示されます。
 (Android)	PTZモードに移動します。スクリーンにPTZコントロールが表示され、これを用いて選択

名前	説明
 (iOS)	したカメラのパン、チルト、ズームイン操作ができます。非PTZカメラでは淡色表示
 (Android)  (iOS)	選択したカメラのPTZプリセット位置が表示されます（PTZカメラのみ）。
 (Android)  (iOS)	現在のフレームのスナップショットを撮影します。スナップショットは以下のように保存されます。 - スナップショットはデバイスのSDカードの/mnt/sdcard/Milestoneに保存されま す（Android）。 - スナップショットはデバイスのフォトライブラリに保存され、デバイス上で写真 をタップするとアクセスできます（iOS）。 保存場所は変更できません。
 (Android)  (iOS)	すべてのカメラのライブビデオを同僚と共有できます。
 (Android)  (iOS)	スマートマップに移動し、ライブビデオを表示するカメラのロケーションを確認します。 この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご 確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト (https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/) の製品概 要ページにあります。
 (Android)  (iOS)	マイクが接続されたカメラからの受信音声の再生を開始または停止します。

名前	説明
 	スピーカーが接続されたカメラのプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能の使用を開始または停止します。
 (Android)  (iOS)	ライブビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（ 50 ページのライブビデオを閲覧する を参照）。
 (Android)  (iOS)	再生モードからライブモードへ切り替えます。

再生モードでは、これらのボタンを使用することで、以下が可能です。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	作成したビデオ録画のリストを表示します。
 (Android)  (iOS)	ライブモードで小さなピクチャ・イン・ピクチャ（PiP）をオン/オフします。ボタンを再度タップ、またはPiPビューをダブルタップすると、ライブモードに戻ります。
 (Android)  (iOS)	調査を作成します。
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画を順方向に再生します。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画を逆方向に再生します。
 (Android)  (iOS)	ビデオ録画の再生を一時停止します。
 (Android)  (iOS)	次のシーケンスに進むか、前のシーケンスに戻ります。
 (Android)  (iOS)	シーケンス内のひとつ先のフレームに進むか、またはひとつ前のフレームに戻ります。
	タイムスクローラーをドラッグすると、録画ビデオの特定の時間に移動できます。時間表示をタップすると、タイムピッカーが表示されます。
X1	再生速度の選択肢が表示されます。
 (Android)  (iOS)	マイクとスピーカーが接続されているカメラに保存されている音声を再生します。
 (Android)  (iOS)	再生モードでスナップショットを撮ります。

名前	説明
 (Android)  (iOS)	録画したビデオにブックマークを追加して、ビデオシーケンスをすばやく見つけます (67 ページのビデオ録画の検索と表示 を参照)。
 (Android)  (iOS)	前の画面に戻します。

モバイルサーバーの接続設定（説明付き）

モバイルサーバーをXProtect Mobileアプリに手動で追加するには、設定のリストを構成する必要があります。

サーバーの追加画面での設定

設定	説明
サーバー名	サーバーの名前。 デバイス上のサーバーリスト上に名前が表示され、追加したいものを任意で選ぶことができます。
アドレス	XProtect Mobile Serverを実行しているコンピュータのアドレス。サーバーのアドレスには、IP アドレスまたはホスト名を指定できます。
https://または http://	XProtect Mobileクライアントとモバイルサーバーに使用する接続の種類。デフォルトで、HTTPS接続が選択されています。  接続の種類としてHTTPを選択した場合、モバイルサーバーはHTTP接続も使用する必要があります。使用しない場合、XProtect Mobileアプリとサーバーは通信できません。

設定	説明
	詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。
ポート番号	XProtect Mobileクライアントがサーバーと通信するために使用するポート番号。HTTP接続の場合、デフォルトのポートは8081です。HTTPS接続の場合、デフォルトのポートは8082です。  ポート番号を編集した場合は、モバイルサーバー側の対応するポート番号も編集する必要があります。編集しない場合、XProtect Mobileアプリとサーバーは通信できません。
ログインを 続行	ログイン 画面に移動します。
保存して後 でログイン する	モバイルサーバーの詳細を保存し、後でログインします。



モバイルデバイスでMDM機能を利用している場合、モバイルサーバーの詳細情報は自動的に入力されます。

ログイン画面での設定

設定	説明
Windowsユーザー 基本ユーザー	ログインの認証方式。Windowsユーザーとしてログインするか、基本ユーザーとしてログインするかを選択します。
ユーザー名	ログインに必須の認証情報。

設定	説明
パスワード	ログインに必須の認証情報。  ユーザー名とパスワードはManagement Clientで設定された基本ユーザー、またはWindowsユーザーに基づいています。Windows ユーザー認証情報は、コンピュータまたはドメインに固有です。
ログイン情報を保存	追加済みのサーバーに次回以降接続する時のために、ユーザー名とパスワードを記憶させたいかどうかを示します。デフォルトでは、この設定は有効になっています。
ログイン	XProtect Mobileクライアントにログインします。
パスワードを変更	基本ユーザーはいつでもパスワードを変更できます（ 46 ページのログインとログアウト を参照）。
[外部IDPの名前]でログイン	システム管理者によって外部IDPを使用したログインが設定されている場合は、このオプションを使用してXProtect Mobileクライアントにログインします。詳細については、 39 ページの外部IDPとXProtect Mobileクライアント（説明済み） をご参照ください。

モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する

1つのモバイルデバイスを、複数のモバイルサーバーに接続することができます。

要件：

- システム管理者からサーバーとユーザーの詳細情報を入手します。
- アプリをインストールし、開きます。
- HTTPS 接続を使用したい場合は、認証局（CA）からのデジタル証明書をXProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。



自己署名した証明書を使用する場合は、XProtect Mobileアプリを使用してモバイルサーバーに接続することはできません。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。

以前に使用したことのないサーバーに接続する

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. **サーバー**画面で、以下の操作を行います。
 - Android-**サーバーの追加**をタップして、ローカルネットワークでモバイルサーバーをスキャンします。
 - iOS - **編集**をタップしてから**サーバーの追加**をタップし、ローカルネットワークでモバイルサーバーをスキャンします。



XProtect Mobileクライアントには、UPnPでXProtect Mobileサーバーを見つけるためのスキャン機能があり、これらのサーバーは**新規サーバー**の下にリストされます。1つ以上のサーバーを選択して  をタップし、保存します。



追加済みのサーバーグループは、以前にモバイルデバイスに接続したことがあるサーバーの一覧です。

3. サーバーを手動で追加するには、**サーバーを手動で追加**をタップします。**サーバーを追加**画面で以下の設定を指定します。
 - **サーバー名**フィールドにサーバーの名前を入力します。デバイス上のサーバーリスト内にサーバー名が表示され、任意のサーバーを選択できます。
 - **アドレス**フィールドに、サーバーのIPアドレスまたはサーバーのホスト名を入力します。
 - 接続タイプのプロトコルを指定します。デフォルトでは、接続タイプはHTTPSに設定されています。



HTTP接続が設定されているモバイルサーバーに接続するには、アプリ側で接続タイプのプロトコルをHTTPに設定する必要があります。不明な点は、システム管理者にお問い合わせください。



モバイルデバイスでMDM機能を利用している場合、モバイルサーバーの詳細情報は自動的に入力されます。詳細については、[43 ページのモバイルデバイス管理 \(MDM\) \(説明済み\)](#) をご参照ください。

- ログインを続行するには、**ログインを続行**をタップし、指示に従ってサーバーにログインします ([46 ページのログインとログアウト](#)を参照)。サーバーの詳細を保存して後でログインするには、**保存して後でログイン**をタップします。

以前使用したことのあるサーバーに接続する

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. ネットワーク上のサーバーリストで、接続するモバイルサーバーをタップします。
 - モバイルサーバーで**ログイン情報を保存**を有効にしている場合は、サーバーをタップしてログインします。
 - **ログイン情報を保存**の設定を有効にしていない場合は、サーバーをタップし、指示に従ってモバイルサーバーにログインします（[46 ページのログインとログアウト](#)を参照）。

サーバーの一意のIDを入力して接続する



この接続方法は、アドレスブックサービスを使用するため、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

サーバーの一意のIDについては、システム管理者に確認してください。この接続方法で接続できるようにするには、**サーバーを編集画面で自動接続**設定を有効にしておく必要があります（[35 ページのモバイルサーバーへの接続の表示と編集](#)を参照）。

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. **サーバー画面**で、以下の操作を行います。
 - Android-**サーバーの追加**をタップして、ローカルネットワークでモバイルサーバーをスキャンします。
 - iOS - **編集**をタップしてから**サーバーの追加**をタップし、ローカルネットワークでモバイルサーバーをスキャンします。
3. **サーバーの追加画面**で、**IDでサーバーを追加**をタップします。
4. サーバーIDを入力して、**サーバーの追加**をタップします。
5. ログインを続行するには、**サーバー画面**でモバイルサーバーをタップします。指示に従ってモバイルサーバーにログインします（[46 ページのログインとログアウト](#)を参照）。

電子メールアドレスで接続



この接続方法はアドレスブックサービスを使用するため、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

システム管理者から、サーバー固有の識別子を含んだ電子メールを送信します。IDを使用して、モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続します。

1. モバイルデバイスで、システム管理者からの電子メールを見つけます。
2. XProtect Mobileがインストールされていない場合は、**XProtect Mobileダウンロード**をタップし、ダウンロードできるストアに移動します。その後、デバイスにアプリをインストールします。
3. 同じ電子メール内で、**XProtect Mobileサーバーを追加**をタップします。
4. ログインを続行するには、**サーバー**画面でモバイルサーバーをタップします。指示に従ってモバイルサーバーにログインします（[46 ページのログインとログアウト](#)を参照）。

モバイルサーバーの接続を切断する

モバイルデバイスをサーバーから切断するには、以下を実行します。

- AndroidおよびiOS - モバイルサーバーにログインし、サーバー画面で以下の操作を行います。
 1. 左上のユーザーメニューをタップします。
 2. **サーバーから切断**をタップします。
- Android - モバイルサーバーにログインすると、**サーバー**画面に戻ります。
 1. サーバーリストで、接続を切断するサーバーに移動します。
 2.  をタップし、**接続を切断**をタップします。



次回ログイン時のための**ログイン情報を保存**の設定を有効にしている場合は、接続を切断してもサーバーにユーザー認証情報が保存されたままになります。

モバイルサーバーへの接続の表示と編集

接続タイプを変更したり、デフォルトのサーバーとして別のサーバーを選択したい場合などに、モバイルサーバーへの接続の設定を表示して変更できます。

1. **サーバー**画面で、以下の操作を行います。
 - Android - サーバーのリストで関連するモバイルサーバーの  をタップして**編集**をタップし、**サーバーの編集**画面を開きます。
 - iOS - **編集**をタップして関連するモバイルサーバーをタップし、**サーバーの編集**画面を開きます。
2. **サーバーの編集**画面では、サーバーの設定を表示または編集できます。
 - **自動接続** - サーバーアドレスの変更があった場合でも、モバイルサーバーへの接続を有効にします。この設定はデフォルトで有効になっています。この設定を無効にすると、保存したサーバーへの現在の接続がすべて失われます。
 - **安全な接続** - サーバーに接続する際、HTTPSを使用します。デフォルトで、HTTPS接続は有効になっています。



HTTPS 接続を使用したい場合は、認証局（CA）からのデジタル証明書を XProtect Mobileサーバーにインストールしておく必要があります。自己署名した証明書を使用する場合は、XProtect Mobileアプリを使用してモバイルサーバーに接続することはできません。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。

- **サーバー接続** - 利用可能なサーバーのアドレスが一覧表示されます。
 - 手動でモバイルサーバーのアドレスを追加するには、**アドレスの追加**をタップします。モバイルサーバーのサーバーアドレスとポート番号を入力し、**アドレスの追加**（Android）または**保存**（iOS）をタップします。
 - モバイルサーバーのアドレスを編集するには、以下の操作を行います。
 - Android - 該当するサーバーアドレスの  をタップし、**[編集]**をタップします。アドレスとポート番号を編集し、**アドレスを保存**をタップします。
 - iOS - **編集**をタップして、該当するサーバーアドレスをタップし、**編集**をタップします。アドレスとポート番号を編集し、**保存**をタップします。
 - モバイルサーバーのアドレスを削除するには、以下を実行します。
 - Android - 該当するサーバーアドレスで  をタップし、**削除**をタップします。次には **はい**をタップして確定します。
 - iOS - **編集**をタップして、該当するサーバーアドレスの赤いマイナスアイコンをタップし、**削除**をタップします。**完了**をタップします。
- **デフォルトサーバー** - XProtect Mobile起動時にモバイルサーバーに常に接続したい場合に設定を有効にします。
- **サーバー設定を保存** - このボタンをタップすると、編集内容が保存されます。

XProtect Mobileでアクセスリクエスト通知を有効化する



VMSから通知を受け取るには、Milestone Care Plusライセンスを購入する必要があります。アクセスリクエスト通知はデフォルトで無効になっています。

サーバーのセキュリティ設定に加えて、XProtect Mobileアプリのサーバー設定でアクセスリクエスト通知を有効にする必要があります。これは、アプリが接続されているすべてのサーバーで行う必要があります。

1. XProtect Mobileアプリを開き、以下の手順に従います。

- Android - サーバーリストで接続するサーバーに移動し、をタップして、**編集**をタップします。
- iOS - サーバーリストの右上にある**編集**をタップしてから、接続したいサーバーをタップします。

2. **通知**で**通知の受信**オプションをサーバーごとに有効にします。

3. **通知設定** (iOSの場合) または**タップして設定** (Androidの場合) をタップして、**アクセスリクエスト**を有効にします。

4. **完了**をタップします。

5. **サーバーの編集**画面で、**保存** (iOS) または**サーバー設定を保存** (Android) をタップします。



通知設定を有効にしても、ユーザー資格情報を保存していない場合は、受信した通知を開く前に、必ず、ログイン方法として認証情報を入力するか、外部IDPを使用するよう求められます。

アクセスリクエストが無効になっていると、いかなるアクセスリクエストに関する通知も受け取ることはなく、アクセスリクエストのリストはXProtect Mobileアプリに表示されません。

通知の有効化または無効化

監視システムでイベントとアラームを設定すると、XProtect Mobileは、イベントがアラームをトリガーした場合や、デバイスまたはサーバーに問題が生じた場合に通知を送信します。アプリが開いている場合、XProtect Mobileは、アプリに通知が表示されます。

アプリが開いていない場合でも、XProtect Mobileからの通知を希望する場合は、プッシュ通知を有効にする必要があります。プッシュ通知はモバイルデバイスに送信されます。モバイルデバイスの通知設定により、通知方法が決まります。たとえば、バナーを表示したり、区別しやすい音を鳴らすことができます。



プッシュ通知は、Milestone Care Plusライセンスを購入した場合にのみ利用できます。

通知を受け取るには、アプリレベル (Android) 、モバイルデバイス、およびサーバーレベルで通知設定を有効にする必要があります。

アプリレベル (Android) およびモバイルデバイスレベルで通知を有効または無効にする手順



XProtect Mobileクライアントでは、デフォルトでアプリ (Android) およびデバイスレベルの通知設定が有効になっています。

Androidユーザーの場合

1. XProtect Mobileアプリを開きます。
2. サーバー画面で  をタップします。
3. 設定画面で **プッシュ通知** に進み、設定を有効または無効にします。プッシュ通知を受け取るには、モバイルデバイスのアプリの通知設定も有効にする必要があります。

AndroidおよびiOSユーザーの場合

1. デバイスの設定に移動します。XProtect Mobileをタップし、**通知**をタップします。
2. **通知を許可**設定を有効または無効にします。

サーバーレベルで通知を有効/無効にする手順



XProtect Mobileクライアントでは、サーバーを追加する際の通知設定はデフォルトで無効になっています。

1. XProtect Mobileを開き、次の操作を行います。
 - Android - サーバーリストで接続するサーバーに移動して、 をタップし、**編集**をタップします。
サーバーの編集画面の通知で、そのサーバーの**通知を受け取る**を有効または無効にします。アプリで**プッシュ通知**の設定を有効にしていない場合は、**アプリの設定に移動**のリンクをタップします。プッシュ通知を受け取るには、モバイルデバイスのアプリの通知設定も有効にする必要があります。
 - iOS - サーバーリストの右上にある**編集**をタップします。接続するサーバーをタップし、**通知**でそのサーバーの**通知を受け取る**を有効または無効にします。モバイルデバイスでXProtect Mobileアプリの通知設定を有効にしていない場合は、**モバイルデバイスの設定に移動**リンクをタップします。



通知を受け取るを無効にすると、サーバーのステータス通知しか送られなくなります。通知設定を有効にしている場合、ユーザー資格情報を保存していない場合は、受信した通知を開く前に、必ず、ログイン方法として認証情報を入力するか、外部IDPを使用するよう求められます。

2. 通知を受けたいアラームを指定するには、**通知設定** (iOS) または **タップして設定** (Android) をタップして、以下のいずれかを実行します。
 - **アラーム**を有効にする
 - **すべてのアラーム**を選択 - アラームの所有者やソースに関係なく、何らかのアラームがトリガーされた時点で通知が送信されます。
 - **マイアラーム**を選択 - 自分が所有するアラームがトリガーされた時点で、または他の人からアラームを割り当てられた時点で通知が送信されます。

- **アラーム**を無効化 - イベントによってアラームがトリガーされても通知は送信されません。ただし、これらのアラームイベントを**アラーム**で確認することはできます。

3. 変更を保存するには、以下を実行します。

- Android - **サーバー設定を保存**をタップします。
- iOS - **完了**をタップします。

外部IDPとXProtect Mobileクライアント（説明済み）

XProtect Mobileクライアントは、外部IDPでのログインに対応しています。

IDPはIdentity Providerの頭字語です。外部IDPは、ユーザーID情報を保存および管理し、他のシステムにユーザー認証サービスを提供できる外部アプリケーションおよびサービスです。外部IDPはXProtectVMSに関連付けることができます。

XProtect Mobile2022 R3以降では、外部IDPを使用してXProtectクライアントにログインできます。



XProtect Mobileクライアントに外部IDPでログインするには、HTTPS接続を使用する必要があります。

詳細は、XProtectVMSに関する管理者マニュアルの、外部IDPを使用したログインに関するトピックをご参照ください。

生体認証またはデバイスの認証情報を使ったアプリの保護（説明付き）

XProtect Mobileクライアントでは、生体認証またはデバイス認証を使って本人確認することができます。

アプリを開く前（AndroidおよびiOS）またはモバイルサーバーを編集または削除する前に（Android）、以下を使用して簡単かつ安全に本人確認ができます。

- 生体認証 - 指紋認証または顔認識
- デバイスの認証情報 - PIN、パスコード、またはその他のロック解除パターン。

この機能は、アプリの設定からいつでも有効/無効の切り替えが可能です。



アプリでこの機能を利用するには、モバイルデバイスで設定を有効にする必要があります。

XProtect Mobileアプリで機能を有効にする手順

アプリの**設定**画面で以下の操作を行います。

1. **一般設定**の下にある、**このアプリで生体認証またはデバイス認証の使用を有効にする**の設定に進みます。
2. 設定を有効にします。この設定はデフォルトでは無効になっています。

モバイルデバイスからのビデオのストリーム（説明付き）

ビデオプッシュにより、モバイルデバイスのカメラからXProtect監視システムにライブビデオをストリームできます。

これは、インシデントを調査する際にエビデンスを収集するのに便利です。



「モバイルデバイスからビデオをストリームするのはどのようなときですか？」

- 入口に群衆が集まっていて、制御室を表示したい場合。
- ある犯罪行為を目撃し、犯人の映像がほしい場合。
- 目撃者に質問をしていて、反応を録音/録画したい場合。
- 警備員が状況に対応していて、そのアクションを文書化したい場合。

管理者はビデオプッシュを設定する必要があります。

ビデオプッシュを使用する前に、システム管理者は、Management Clientで以下の手順を実行する必要があります。

- モバイルサーバーへのチャンネルの追加。
- ビデオプッシュドライバーをハードウェアデバイスとして追加。
- ビデオストリーミングに使うカメラにつながっているマイクを有効にする。
- デバイスからビデオをストリームできるユーザーを指定する。



ビデオプッシュは、横長モードまたは縦長モードで利用できます。

詳細は、XProtect Mobileサーバー[システムコンポーネント](#)の管理者マニュアルを参照してください。

モバイルデバイスでのビデオストリームの設定

Androidの設定

ビデオ プッシュ画面で  をタップします。

ビデオプッシュ設定画面で以下を指定します。

- **ビデオ解像度** - ビデオストリームの解像度は**低**、**中**、**高**または**HD**のいずれかに設定できます。
- **自動画質** - 有効にすると、ビデオストリームの画質が自動的に調整されます。
- ビデオストリームの画質を**低**、**中**、**高**に設定することもできます。
- **ロケーションデータ** - 有効にすると、ビデオのストリーミング中に自分の位置についての詳細を含めることができます。このためには、デバイスで位置情報をオンにする必要があります。以下でのみ利用可能
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+

iOSの設定

ビデオプッシュ画面で**設定**をタップします。

ビデオプッシュ**設定**画面で以下を指定します。

- **ビデオ解像度** - ビデオストリームの解像度は**低**、**中**、**高**または**HD**のいずれかに設定できます。
- **画質** - XProtect Mobileによる画質の自動調整を許可するか、画質を**低**、**中**、**高**のいずれかに設定します。デフォルトでは、**自動画質**が有効になっています。これは、ビデオの画質に影響する可能性があります。



接続速度が遅い場合、安定したFPSが得られるようXProtect Mobileクライアントにより画像の圧縮率が変更されます。サーバーにより、ライブビデオを視聴する際のサービスの品質は異なります。

- **ロケーションデータ** - 有効にすると、ビデオのストリーミング中に自分の位置についての詳細を含めることができます。以下でのみ利用可能
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert
 - XProtect Professional+
 - XProtect Express+
 - XProtect Essential+

受信音声の再生（説明付き）

XProtect Mobileクライアントが受信音声をサポートしている場合

- ライブビデオの視聴（[50 ページのライブビデオを閲覧する](#)を参照）。



カメラに接続されたマイクから受信するライブ音声は、カメラからのライブビデオストリームがない場合でも再生可能です。

- ビデオ録画の再生（[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。

音声受信は、以下の場合も利用可能です。

- 調査（[72 ページの調査の表示または作成](#)を参照）
- アラーム（[75 ページのアラームの表示とアクション](#)を参照）
- 入退室管理（[78 ページのドア表示して対応する](#)、[79 ページのアクセスリクエストへの対応](#)、[81 ページの入退室管理イベントの調査](#)を参照）
- ブックマーク（[57 ページのブックマーク（使用）](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）

この機能では、XProtectVMSによりご使用のモバイルデバイスのマイクからビデオカメラの近くにいる人と音声で交信できます。この場合には、相手の側のカメラにも音声機能が必要です。再生モード時には、録音された会話も再生することができます。

XProtect Mobileクライアントがサポートするプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能：

- 1つのカメラからのライブビデオを見ている間（[50 ページのライブビデオを閲覧する](#)を参照）。
- ビデオ録画に録音された送信音声を再生する場合（[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。
- 調査（[72 ページの調査の表示または作成](#)を参照）。
- アラーム（[75 ページのアラームの表示とアクション](#)を参照）。
- 入退室管理（[78 ページのドア表示して対応する](#)、[81 ページの入退室管理イベントの調査](#)、[79 ページのアクセスリクエストへの対応](#)を参照）。



XProtect Mobileアプリによるモバイルデバイスのマイクへのアクセスを許可してください（[15 ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用できる場合は、カメラツールバーに**プッシュ・トゥ・トーク**ボタンが表示されます。アイコンは以下の状況を示しています。

アイコン	説明
 (使用可能)	ライブモードでプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。使用を開始するには、ロングタップします。音声の送信を終了するには、ボタンから手を放します。
 (アクティブ)	ライブモードで現在プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用中であることを示します。モバイルデバイスのマイクと、ビデオカメラのスピーカーはアクティブな状態です。点滅している青い丸は、音量を示しています。
 (無効)	ライブモードでプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用できますが、使用条件がすべて満たされていないことを示しています（ 15 ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件 を参照）。
 (Android)  (iOS)	再生モードで  (Android) または  (iOS) をタップすると、ビデオ録画中に受信/送信する録音音声を再生できることと、再生する音源を選択できることを示します。

プッシュ・トゥ・トーク割り込みのルール

ユーザー権限のレベルに基づき（システム管理者またはオペレータ）、ライブモードでプッシュ・トゥ・トークセッションに割り込む場合、以下の2つのルールがあります。

- ユーザー権限が同じレベルのユーザー同士で割り込むことはできません。
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー（オペレータ）がユーザー権限が高いレベルのユーザー（システム管理者）に割り込むことはできません。

モバイルデバイス管理（MDM）（説明済み）

XProtect Mobileクライアントは、モバイルデバイス管理（MDM）に対応しています。

モバイルデバイス管理（MDM）は、携帯電話事業者、サービスプロバイダー、企業などに導入されているモバイルデバイスを保護、監視、管理、サポートするソフトウェアです。

一般にMDMソリューションは、モバイルデバイスに管理コマンドを送信するサーバーコンポーネントと、管理対象デバイス上で動作し、管理コマンドを受信して実行されるクライアントコンポーネントから構成されます。



モバイルデバイスでMDM機能を利用するには、XProtectVMSのシステム管理者がMDMソフトウェアプラットフォームでモバイルサーバーの詳細設定を行う必要があります。モバイルサーバーの詳細情報は、サーバー名、サーバーアドレス、サーバーのポート、接続タイププロトコルなどです。



システム管理者によって追加済みのモバイルサーバーの詳細が更新されている場合は、そのサーバーをサーバーリストから手動で削除し、XProtectMobileアプリを再起動する必要があります。

詳しくは、モバイルサーバーに関するマニュアルの、MDMプラットフォームのモバイルサーバーの詳細設定に関するトピックを参照してください。

ダイレクトストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。XProtect® MobileクライアントはH.265コーデックの使用もサポートします。ダイレクトストリーミングにはトランスコードは不要なため、XProtectにかかる負荷がいくらか軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、（XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる）XProtectのトランスコード設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。さらにダイレクトストリーミングは、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます（トランスコードと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能）。

ダイレクトストリーミングは1台のカメラビュー、グリッドビュー、ピクチャ・イン・ピクチャ（PiP）で使用できます。

ビデオストリームは、以下の場合にダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていない（[16 ページのダイレクトストリーミングの要件](#)を参照）。
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264またはH.265ではない。
- ビデオが4秒間以上にわたって再生を開始できない。
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われた。
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用している。

アダプティブストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています。

アダプティブストリーミングは、同じカメラのビューで複数のライブビデオストリームを閲覧する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスのデコード性能とパフォーマンスを改善します。

アダプティブストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能では以下のことができます。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能な最も低い解像度（要求したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能な最も低い解像度（低下したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能な最も低い解像度を持つストリームが選択されます（3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨）。



ズーム中に要求されるライブビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細は、XProtect Mobileサーバー [システムコンポーネント](#) の管理者マニュアルを参照してください。

タブレットのグリッドレイアウトの変更

タブレットでXProtect Mobileクライアントを使用している場合、カメラのグリッドレイアウトを変更して、アプリがカメラを視覚的にどのように表現するかを調整できます。縦型モードか、横型モードかによって1列、2列、または3列を選択できます。

- グリッドレイアウトを変更するには、特定のビューへ移動し、右上のグリッドアイコンをタップし、必要なグリッドレイアウトを選択します。

XProtect Mobile クライアントのスマートフォンバージョンではグリッドレイアウトを変更することはできません。

操作

ログインとログアウト

XProtect Mobileクライアントには、基本ユーザーまたはWindowsユーザーとしてログインすることができます。また、外部IDPを使用してログインすることもできます。システム管理者は、認証ログイン方法をXProtect Management Clientで定義します。



Milestoneは、ユーザー資格情報を管理する際は安全な接続を使用するようお勧めしています。

基本ユーザーとして初めてログインする手順

基本ユーザーとして初めてログインするには、システム管理者から渡された仮のパスワードを変更する必要があります。

1. XProtect Mobileアプリアイコンをタップします。**サーバーの追加**をタップします。
2. ネットワーク上のサーバーリストで、接続するモバイルサーバーをタップします。
3. **サーバーの追加**画面でサーバーの詳細情報を入力し、**ログインを続行**をタップします。
4. **ログイン**画面で、以下の操作を行います。
 1. 認証ログイン方法として、**基本ユーザー**を選択します。



ユーザープロファイルは、監視システムでシステム管理者が定義します。

2. ユーザー名と仮のパスワードを入力し、**ログイン**をタップします。ダイアログボックスが表示されます。
3. **[続行]**をクリックすると新しいウィンドウが開きます。
5. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
6. 変更内容を保存した後、以下にリダイレクトされます。
 - Android - 基本ユーザーとしてログインを続行するための**ログイン**画面。
 - iOS - 基本ユーザーとしてログインを続行するための**サーバー**画面。**サーバー**画面で該当するサーバーをタップすると、**ログイン**画面が表示されます。
7. **ログイン**画面で、ユーザー名と新しいパスワードを入力します。デフォルトでは、**ログイン情報を保存**の設定が有効になっています。
8. **ログイン**をタップします。

基本ユーザーとしてログインする手順

1. XProtect Mobileアプリアイコンをタップします。
2. **サーバー**画面で、以下の操作を行います。
 - 新しいモバイルサーバーにログインするには、**サーバーの追加**をタップして**サーバーの追加**画面を表示します。指示に従って、モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続します（[32 ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)を参照）。手順3に進みます。
 - 追加済みのサーバーにログインするには、サーバーリストで該当するモバイルサーバーをタップします。
 - **ログイン情報を保存**の設定を有効にしている場合は、サーバーに直接ログインします。
 - **ログイン情報を保存**の設定を有効にしていない場合は、手順3に進みます。
3. **ログイン**画面で、以下の操作を行います。
 1. 認証ログイン方法として、**基本ユーザー**を選択します。



ユーザープロファイルは、監視システムでシステム管理者が定義します。

2. ユーザー資格情報を入力します。デフォルトでは、**ログイン情報を保存**の設定が有効になっています。
3. **ログイン**をタップします。
4. （オプション）システム管理者がユーザーアカウントに2要素認証を設定している場合、検証コードを入力するよう求められます。このコードはシステムからメールアドレスに送信されます。詳しくは、システム管理者にメールアドレスについて確認してください。
 1. メールプログラムを開き、番号をメモします。
 2. XProtect Mobileアプリでコードを入力し、**ログイン**をタップします。



指定された時間内に（デフォルトの時間は5分）認証コードを使用しない場合、その認証コードは期限切れになります。その場合、コードを入力する画面で新しいコードを要求できます。



コード入力の規定回数を越えると（デフォルトは3回）、ブロックされて入力を試すことができなくなります。ブロックされた場合にはXProtect Mobileアプリからログアウトし、ログインし直します。



次回ログイン時にシステム管理者にパスワード変更を求められた場合、上記の手順に従ってログインしてください。



モバイルデバイスでMDM機能を利用している場合は、モバイルサーバーの詳細情報が自動的に入力されます。該当するモバイルサーバーをタップすると、直接**ログイン**画面に進みます。詳細については、[43ページのモバイルデバイス管理（MDM）（説明済み）](#)をご参照ください。

Windowsユーザーとしてログインする手順

1. XProtect Mobile アプリアイコンをタップします。
2. **サーバー**画面で、以下の操作を行います。
 - 新しいモバイルサーバーにログインするには、**サーバーの追加**をタップして**サーバーの追加**画面を表示します。指示に従って、モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続します（[32ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)を参照）。手順3に進みます。
 - 追加済みのサーバーにログインするには、サーバーリストで該当するモバイルサーバーをタップします。
 - **ログイン情報を保存**の設定を有効にしている場合は、サーバーに直接ログインします。
 - **ログイン情報を保存**の設定を有効にしていない場合は、手順3に進みます。
3. **ログイン**画面で、以下の操作を行います。
 1. 認証ログイン方法として**Windowsユーザー**を選択します。



ユーザープロファイルは、監視システムでシステム管理者が定義します。

2. ユーザー資格情報を入力します。Windows ユーザー認証情報は、コンピュータまたはドメインに固有です。デフォルトでは、**ログイン情報を保存**の設定が有効になっています。
3. **ログイン**をタップします。



モバイルデバイスでMDM機能を利用している場合は、モバイルサーバーの詳細情報が自動的に入力されます。該当するモバイルサーバーをタップすると、直接**ログイン**画面に進みます。詳細については、[43ページのモバイルデバイス管理（MDM）（説明済み）](#)をご参照ください。

外部IDPを使ってログインする手順

1. XProtect Mobile アプリアイコンをタップします。
2. **サーバー**画面で、以下の操作を行います。
 - 新しいモバイルサーバーにログインするには、**サーバーの追加**をタップして**サーバーの追加**画面を表示します。指示に従って、モバイルデバイスをモバイルサーバーに接続します（[32 ページのモバイルデバイスをモバイルサーバーに接続する、またはモバイルサーバーの接続を切断する](#)を参照）。手順3に進みます。
 - 追加済みのサーバーにログインするには、サーバーリストで該当するモバイルサーバーをタップします。
3. **ログイン**画面で、**[外部IDP名]を使ってログインする**をタップします（[39 ページの外部IDPとXProtect Mobile クライアント（説明済み）](#)を参照）。



モバイルデバイスでMDM機能を利用している場合は、モバイルサーバーの詳細情報が自動的に入力されます。該当するモバイルサーバーをタップすると、直接**ログイン**画面に進みます。詳細については、[43 ページのモバイルデバイス管理（MDM）（説明済み）](#)をご参照ください。

XProtect Mobileサーバーからログアウトする手順

1. アプリで、サーバー画面に移動します。
2. 左上のユーザーメニューをタップします。
3. **ログアウト**をタップします。



ログアウトすると、そのモバイルサーバーに保存されているユーザー資格情報が削除されます。

XProtect Mobileクライアントでパスワードを変更する

パスワードを頻繁に変更すると、XProtect VMS システムのセキュリティが向上します。基本ユーザーとしてログインすると、いつでもパスワードを変更できます。自分で変更しない場合、システム管理者にパスワードを変更するよう強制的に求められます。Windows認証を使用する場合は、システム管理者のみがパスワードを変更できます。



ユーザー資格情報を管理できるようにするには、XProtect VMS 2021 R1以降を使用しなくてはなりません。

すでに追加されているモバイルサーバーのパスワードを変更するには、以下を実行します。

1. XProtect Mobileアプリを開き、**サーバー**画面で該当するモバイルサーバーをタップします。
 - ユーザー認証情報が保存されている場合は、サーバー画面が表示されます。
 1. サーバー画面の左上で、ユーザーメニューをタップします。
 2. ユーザーメニューで**パスワードの変更**をタップして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
 - 認証情報が保存されていない場合は、**ログイン**画面で以下の操作を行います。
 1. **基本ユーザー**認証を選択します。
 2. **パスワードの変更**をタップして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
2. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
3. 変更を保存すると、XProtect Mobileアプリの**サーバー**画面にリダイレクトされます。
4. 適切なモバイルサーバーをタップします。**ログイン**画面が表示されます。
5. **ログイン**画面の**ユーザー名**および**パスワード**のフィールドに、ユーザー認証情報を入力します。デフォルトでは、**ログイン情報を保存**の設定が有効になっています。
6. **ログイン**をタップします。



パスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。次回ログイン時にパスワードを変更するようシステム管理者から求められます。



繰り返しログインに失敗すると、アカウントがロックアウトされます。ロックアウト時間が切れるのを待つか、システム管理者に連絡してください。システム管理者はアカウントを再び有効にできるほか、次回ログインの際にパスワードを変更するよう求める可能性があります。

ライブビデオを閲覧する

XProtect Smart Clientがビューに設定されている時のみ、ビデオを閲覧できます。XProtect Mobileではビューを作成できません。また、XProtect Mobileクライアントはビデオのみを表示します。XProtect Smart Clientのビューに、マップ、テキスト、HTMLページなどの他のタイプのコンテンツがある場合は、そのコンテンツは表示されません。

サーバーに接続すると、XProtect Mobileクライアントにビューが一覧表示されます。

- Android - ビューにアクセスするには、**ビュー**をタップします。
- iOS - ビューにアクセスするには、をタップします。

ホーム画面では、利用可能なビューがフォルダー内に整理されています。

-  (Android)
-  (iOS)

これらのフォルダーには、ビューのあるフォルダー、またはカメラの個別のビュー ( (Android) または  (iOS)) を含めることができます。ビューにはカメラのみを含めることができます。

ビューの一覧には次の情報が表示されます。

- フォルダーの名前。**共有**には、すべてのユーザーがアクセスできるビューが含まれ、**プライベート**には、XProtect Smart Clientで設定したビューが含まれ、本人のみがアクセスできます。
- ビューの名前。例えば、建物A。
- ビューで使用可能なカメラの数。

カメラからライブビデオの表示を開始する

1. 内蔵カメラを表示するには、ビューをタップします。
2. カメラのプレビュー画像をタップします。
3. オプション。音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。受信音声を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします（マイクが接続されているカメラのみ）。
4. オプション。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、 をタップして長押しします。音声の送信を停止するには、 アイコンから手を放します（スピーカーを接続しているカメラのみ）。
5. オプション。 (Android) または  (iOS) をタップしてブックマークを追加し、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（[57 ページのブックマーク（使用）](#)を参照）。
6. オプション。通信アプリを使ってライブビデオのリンクを共有するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。



共有されたライブビデオのリンクを開くには、XProtect Mobileアプリのサーバーリストに、そのビデオの発信元のサーバーを追加する必要があります。また、このビデオの発信元のカメラを表示するためのユーザー権限も必要です。

7. オプション。スマートマップでカメラの場所を確認するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。

カメラからライブビデオの表示を停止する、または別のカメラを表示する

ライブビデオの表示を停止するには、以下の操作を行います。

- Android -  をタップします
- iOS -  をタップします

ビューで別のカメラからのビデオを表示するには、以下の操作を行います。

- 右または左にスワイプします。

カメラインジケータ

カメラインジケータには、カメラによるモーション検出、ビデオ録画、あるいはその両方が示されます。カメラインジケータはカメラタイトルバーに表示されます。

記号	モーションが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
	⊗	⊗
	☑	⊗
	⊗	☑
	☑	☑

特定のカメラの検索

大量のビューとカメラがある場合は、カメラ名を検索して、カメラを見つけることができます。

1. ビューリストの上にある  をタップします。
2. カメラの名前を入力します。

XProtect Mobileクライアントのスマートマップ（使用）

スマートマップ（説明付き）

モバイルデバイスから、世界中の複数のロケーションにあるVMSのデバイス（カメラなど）を表示し、それらにアクセスできるようになりました。この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト

(<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>) の製品概要ページにあります。

XProtect Mobileアプリでは、スマートマップ機能は地理的情報システムを使用して、地理的に正確な実際の画像で監視システムのデバイス（カメラなど）を可視化します。この機能は、地理的背景としてMilestone Map Serviceを使用します。



Milestone Map Serviceは、Milestone Systemsのタイルサーバーに接続できるオンラインサービスです。このタイルサーバーは、無料のマップサービスを使用しています。詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

スマートマップに移動する

1. モバイルサーバーに接続します。
2. [ビュー] タブで、トップバーの  (Android) または  (iOS) をタップします。スマートマップ画面が開きます。
3. 画面を閉じるには、 (Android) または **閉じる** (iOS) をタップします。

スマートマップ上のカメラ（説明付き）

スマートマップでは、VMSのすべてのカメラを1つの全体像で表示できます。複数のカメラ同士が近い場所にあると、ズームアウトすることでカメラがクラスタとしてグループ化され、視覚的には丸いアイコンとして表示されます。各クラスタには、以下が表示されます。

- クラスタ内のデバイス（カメラなど）の数（AndroidとiOSの両方）
- クラスタ内のデバイス（カメラなど）のタイプ（Android）。

各カメラのアイコンは、実際のカメラの向きと同じ方向を指します。

ズームインまたはズームアウト

スマートマップをズームアウトして、複数の都市、地域、国、および大陸にあるカメラのロケーションを確認したり、ズームインして各ロケーションに迅速に移動し、複数のカメラのライブビデオを表示したりできます。

ズームインとズームアウトはさまざまな方法で実行できます。

- AndroidおよびiOS - ナビゲーションバー以外の画面上の任意の場所をダブルタップしてズームインします。2本の指でタップ&ドラッグして、画面内を移動します。2本の指でピンチしてズームレベルを調整します。
- iOS - スマートマップにクラスタがある場合は、クラスタに近い場所をダブルタップします。マップは、クラスタ内のすべてのカメラが個々のカメラアイコンとして表示されるまでズームします。
- Android - スマートマップにクラスタがある場合は、そのアイコンをタップします。マップは、クラスタ内の

すべてのカメラが個々のカメラアイコンとして表示されるまでズームします。

- Android - **スマートマップ**画面の下部で、ズームインするにはプラス記号を、ズームアウトするにはマイナス記号をタップします。

スマートマップ上のロケーション



このアプリ機能をフルに活用するには、デバイスのロケーション設定をオンにし、アプリがデバイスの正確なロケーションにアクセスできるようにする必要があります。

スマートマップの操作を開始する前、近くにカメラがあるかどうかに関係なく、現在地を示すロケーションマーカー  は**スマートマップ**画面の中央に表示されます。最大ズームイン時、青い点を囲む円は、現在地に対するスマートマップの精度を示します。精度直径は200メートルに設定されています。

ロケーションボタンは、スマートマップのツールバーの右下（Android）または右上（iOS）にあります。ロケーションの設定と位置情報へのアクセス許可がオンであるかどうかによって、ロケーションボタンの状態は以下のいずれかとなります。

ロケーションボタン	状態	ステータスの意味
 (Android)  (iOS)	非アクティブ	スマートマップでロケーション機能を使用できません。デバイスのロケーション設定がオンになっていないか、アプリによるデバイスの正確な位置情報へのアクセスが許可されていません。
 (Android)  (iOS)	アクティブ	スマートマップでロケーション機能を使用できますが、現在地マーカーが画面の中央

ロケーションボタン	状態	ステータスの意味
		にありません。スマートマップをスクロールした可能性があります。再び中央に表示するには、ロケーションボタンをタップします。
 (Android)  (iOS)	アクティブ	スマートマップでロケーション機能を使用でき、現在地マーカーが画面の中央にあります。自分の現在値の近くにカメラがある場合、そのカメラのビデオを探して表示することができます。

スマートマップ上のカメラの視野（Android）

スマートマップで、カメラの視野の幅と奥行きを確認できます。カメラアイコンの視野は、実際のカメラの視野を反映し、特定のカメラでカバーされている範囲を示します。

システム管理者は、XProtect Management Clientでカメラの視野の幅と深度の値を入力します。値を保存すると、次回XProtect Mobileクライアントでスマートマップを開いたときに、カメラの視野が自動的に表示されます。詳細については、システム管理者に問い合わせるか、XProtectVMS のシステム管理者マニュアルのスマートマップ設定のセクションを参照してください。



スマートマップでズームアウトすると、カメラの視野が表示されるまでズームインしなければなりません場合があります。

スマートマップ上のアラーム

スマートマップでは、カメラに関連付けられた新しいアラームが表示され、アラームの詳細を見ることができます。この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト (<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>) の製品概要ページにあります。

スマートマップでは、スマートマップを開いた後にトリガーされた新しいアラームが、ソースカメラの周囲に点滅する赤い円で表示されます。ソースカメラをタップすると、このカメラのライブビデオが表示され、アラームの詳細が表示されます。**すべてのアラームを表示**をタップして、**すべてのアラーム**リストを開くこともできます。アラームがクラスタ内のソースカメラに関連付けられている場合は、クラスタをタップして、その特定のカメラが表示されるまでズームインします。スマートマップを開いている間は、同僚の誰かがアラームのステータスを変更すると、自動的に更新されます。

アラームの詳細画面で  (Android) または  (iOS) をタップしてスマートマップに移動し、ソースカメラのロケーションを確認します。

スマートマップで1台のカメラからライブビデオを表示する

1. スマートマップで、ライブビデオを表示するカメラのロケーションに移動します。ズームアウト時にカメラがクラスタに含まれる場合は、個別のカメラのアイコンになるまでズームインします。
2. カメラアイコンをタップします。ライブビデオとカメラ名を含むプレビューがポップアップ表示されます。
3. プレビューのポップアップをタップします。カメラビューが開き、画面上で引き続きライブビデオフィードを表示できます。
4. **スマートマップ**画面へ戻るには、 (Android) または  (iOS) をタップします。

スマートマップでクラスタ内のすべてのカメラのライブビデオを表示する

1. スマートマップで、最大ズームレベルまでズームインし、ライブビデオを表示したいカメラクラスタを探します。
2. 丸いクラスタアイコンをタップして、**クラスタのすべてのカメラ**画面ですべてのカメラからフィードしたライブビデオを表示します。
3. この画面を閉じて **スマートマップ**画面に戻るには、 (Android) または **閉じる** (iOS) をタップします。

スマートマップに表示されているすべてのカメラのライブビデオを表示する

1. スマートマップで、ライブビデオを表示するカメラのロケーションに移動します。
2. スマートマップツールバーで、 (Android) または  (iOS) をタップしてスマートマップに表示されているエリア内のすべてのカメラを表示するグリッドビューを開きます。画面上ですべてのカメラからのライブビデオ再生が始まります。
3. **スマートマップ**画面に戻るには、 (Android) または **閉じる** (iOS) をタップします。

ブックマーク（使用）

この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト（<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>）の製品概要ページにあります。

ブックマークを使用して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけることができます。この機能は、ライブモード（[50 ページのライブビデオを閲覧する](#)を参照）と再生モード（[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)を参照）の両方で、またはビデオプッシュの使用（[73 ページのデバイスから監視システムにビデオをストリーミングする](#)）に使用できます。

ブックマーク（説明付き）

ブックマークは、基本的に小さなビデオクリップです。インシデントにブックマークを付けると、システムによって自動的にIDが割り当てられ、ブックマークを作成したユーザーが追加されます。

遅延があっても確実にインシデントが記録されるように、通常、ブックマークビデオクリップには、インシデントにブックマークを付けた時点から数秒前後（タイムインターバルはシステム管理者によって指定されます）のビデオが含まれます。



ユーザー権限によっては、制限により特定のカメラからブックマークを追加できない場合があります。ブックマークを追加できない場合でも、ブックマークを表示できる場合があります。その逆も同様です。

ブックマークのビデオクリップを再生、ブックマークを共有、またはブックマークの詳細を表示する

1. ホーム画面で、**ブックマーク**（Android）または （iOS）をタップしてブックマークのリストを開きます。
2. **ブックマーク**画面で、**すべてのブックマーク**を選択してすべてのユーザーが作成したブックマークの完全なリストを開くか、**マイブックマーク**を選択して自分で作成したブックマークのみを表示するブックマークのリストを開きます。
3. オプション。ブックマークのリストが長すぎる場合は、**さらに読み込む**をタップします。
4. オプション。検索を簡単にするため、ブックマークのリストにフィルターを適用できます（「[61 ページのブックマークをフィルターする](#)」参照）。
5. 表示したいブックマークに移動し、それをタップします。**ブックマークの詳細**画面が開きます。

6. ブックマークを共有するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。希望する通信アプリを使用してブックマークリンクを共有する



共有ブックマークを開くには、XProtect Mobileアプリのサーバーリストに、そのブックマークの送信元であるサーバーを追加しておく必要があります。

7. ブックマークビデオクリップを再生するには、ビデオをタップします。
8. ブックマークビデオクリップを全画面で表示するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。再生タイムラインを使用して、ブックマークビデオクリップの特定の時刻に移動します（[69 ページの再生タイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。 (Android) または  (iOS) をタップして、スナップショットを作成します。 (Android) または  (iOS) をタップして、ブックマークビデオクリップで音声を再生します。 (Android) または  (iOS) をタップして、**ブックマークの詳細**画面に戻ります。

ブックマークの詳細画面では、次を表示できます。

名前	説明
見出し	50文字まで含むことができるブックマークのヘッドライン。このフィールドは必須です。
説明	ブックマークの追加の説明。このフィールドは任意です。
開始時間	ブックマーククリップの推奨開始時間は、ブックマークイベントの開始時間の数秒前です。開始時間は、システム管理者が指定します。
ブックマークイベント	ブックマークイベントがトリガーされた時のビデオクリップの時間。
終了時間	ブックマーククリップの推奨終了時間は、ブックマークイベントの時間から数秒後です。終了時間は、システム管理者が指定します。
ブックマークID	ブックマークに自動的に割り当てられる一意のID番号。

名前	説明
追加者	ブックマークを作成したユーザー。
カメラ名	ブックマークビデオクリップをストリーミングするカメラの名前。
継続時間	ブックマークビデオクリップの継続時間。
ライブビデオ を見る	タップして、ライブモードのビデオに戻ります。

ブックマークを追加または編集する

ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加できます。

ライブモードでビデオにブックマークを追加する手順

1. **ビュー** (Android) または  (iOS) をタップし、ビューで必要なカメラを選択します。
2.  (Android) または  (iOS) をタップします。ブックマークは、システムによって自動的に割り当てられた **クイックブックマーク** という名前で追加されます。
3. オプション。ブックマーク名を変更するには、成功メッセージの **編集** をタップします。**ブックマークの編集** 画面が開きます。
 1. **[ヘッドライン]** フィールドに、ブックマークの名前を入力します。後で名前を変更することもできます。
 2. オプション。インシデントについて説明します。説明は後で変更することもできます。
 3. **保存** をタップします。



ブックマーククリップの**継続時間**は、監視システムサーバーで決定されます。

再生モードでビデオにブックマークを追加する手順

1. ビューで必要なカメラを選択し、再生モードに切り替えます。
2.  (Android) または  (iOS) をタップします。**ブックマークの追加** 画面が開きます。
3. **[ヘッドライン]** フィールドに、ブックマークの名前を入力します。後で名前を変更することもできます。

4. オプション。**説明**フィールドに、インシデントの説明を入力します。説明は後で変更することもできます。

5.  (Android) または**保存** (iOS) をタップします。



ブックマーククリップの**継続時間**は、監視システムサーバーで決定されます。



ユーザーの権限に応じて、ビデオ録画のタイムラインに追加されたブックマークを見つけることができます。

ブックマークを編集する手順

1. **ブックマーク**画面で、編集するブックマークに移動し、それをタップします。**ブックマークの詳細**画面が開きます。
2. ブックマークを編集するには、 (Android) または**[編集]** (iOS) をタップします。**ブックマークの編集**画面が開きます。
3. **[ヘッドライン]**フィールドに、ブックマークの名前を入力します。
4. オプション。インシデントについて説明します。
5. オプション。ブックマークイベントの時間とビデオクリップの開始時間/終了時間はシステム管理者によって指定されますが、これらの設定は調整できます。この操作を行うには、編集する時間設定にアクセスし、 をタップします。**時間枠を編集**画面が開きます。編集する時間設定が黄色でハイライトされます。

1. 設定の時刻インジケータをタイムラインの希望の位置にドラッグします。タイムラインの をタップしてタイムピッカーを開き、時間枠を編集することもできます。
2. オプション。**時間枠を編集**画面で上記の手順を繰り返し、ブックマークの他の2つの時間設定を編集します。ブックマークイベント時間は、ビデオクリップの開始時間と終了時間の間でなければなりません。

6.  (Android) または**保存** (iOS) をタップします。



ブックマーククリップの**継続時間**は、監視システムサーバーで決定されます。

ブックマークを削除

ユーザー権限に応じて、自分自身または他のユーザーが作成したブックマークを削除できます。ブックマークを削除すると、データベースから削除され、アクセスできなくなります。

ブックマークを削除する手順

1. **ブックマークの編集画面**で、 (Android) または**削除** (iOS) をタップします。
2. 確認メッセージで、**削除**をタップします。
3. オプション。削除するブックマークをタップして、左にスワイプします。

フィルターを使用する

ビューのフィルター

特別なタイプのビューを表示したい時、またはビューを少なくしたい時はフィルターを適用できます。フィルターをタップすると、表示されているかフィルターされているかに関係なく、すべてのビューが表示されます。いつでも、もう一度ビューを含めるよう選択できます。

ビューをフィルターする方法は、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。ビューをフィルターするには、以下を実行します。

1. **ホーム画面**で
 - Android - 右上のをタップします。フィルターが既に適用されている場合は、アイコンにチェックマークが付いています。
 - iOS - 右上のをタップします。フィルターが既に適用されている場合は、青いアイコンが表示されます.
2. ビューを含めたり除外したりするには、ビューをタップするか、スライダーを使用します。
3. フィルターを適用し、ビューの一覧に戻るには、以下を実行します。
 - Android - 右上のをタップします。
 - iOS - 右上の**完了**をタップします。

フィルターの選択の取り消し

選択を保存していない場合は、取り消しできます。

- Android - 左上のをタップします。
- iOS - 選択を手動で取り消します。

ブックマークをフィルターする

特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルターを使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります。

- ブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力したり、ブックマークIDをすべて入力することができます。
- 指定のカメラを選択できます。
- 定義済みタイムインターバルを選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。

キーワードでブックマークをフィルターする手順

1. **ブックマーク**画面で、以下を実行します。

- Android - 右上の  をタップします。フィルターが既に適用されている場合は、アイコンにチェックマーク  が付いています。
- iOS - 右上の  をタップします。フィルターが既に適用されている場合は、青いアイコンが示されます .

2. **ブックマークをフィルター**画面の**キーワード**フィールドにブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力するか、完全なブックマークIDを入力します。

3. フィルターを適用してブックマークの一覧に戻るには、以下を実行します。

- Android - 右上の  をタップします。
- iOS - 右上の**適用**をタップします。

4. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、**すべてのフィルターをクリア**をタップします。

選択したカメラでブックマークをフィルターする手順

1. **ブックマーク**画面で、以下を実行します。

- Android - 右上の  をタップします。フィルターが既に適用されている場合は、アイコンにチェックマーク  が付いています。
- iOS - 右上の  をタップします。フィルターが既に適用されている場合は、青いアイコンが示されます .

2. **ブックマークをフィルター**画面で、**カメラを選択**をタップします。**カメラ**画面が開き、利用できるすべてのカメラのリストが表示されます。

3. オプション。速やかに指定のカメラを見つけるには、**検索**オプションを使用します。

4. カメラリストから、フィルターとして適用するカメラを選択します。選択を元に戻すには、選択したカメラをタップします。
5. オプション。リストのカメラをすべて選択するには、**すべて選択**オプションを使用します。選択を元に戻すには、**すべて選択解除**をタップします。
6. 選択を終えたら、**ブックマークをフィルター**画面に戻り、 (Androidの場合) または**フィルター** (iOSの場合) をタップします。
7. 選択したカメラをフィルターとして適用し、ブックマークのリストに戻る方法
 - Android - 右上のをタップします。
 - iOS - 右上の**適用**をタップします。
8. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、**すべてのフィルターをクリア**をタップします。

定義済みまたはカスタマイズのタイムインターバルでブックマークをフィルターする手順

ブックマークしたビデオシーケンスの開始時間と終了時間の間に事前に設定したまたはカスタマイズした時間間隔の特定の時間枠を使用して、ブックマークのリストにフィルターを適用できます。時間枠のデフォルトの継続時間は**2時間**に設定されています。

1. **ブックマーク**画面で、以下を実行します。
 - Android - 右上のをタップします。フィルターが既に適用されている場合は、アイコンにチェックマークが付いています。
 - iOS - 右上のをタップします。フィルターが既に適用されている場合は、青いアイコンが表示されます.
2. **ブックマークのフィルター**画面で、時間枠を指定するには、次の手順に従います。
 - Android - **特定の時間枠を表示**チェックボックスをオンにします。
 - iOS - **指定の時間枠を表示**設定を有効にします。
3. 定義済みのタイムインターバルのリストを開くには、以下を実行します。
 - Android - **定義済みタイムインターバル**のリストをタップします。
 - iOS - **定義済みタイムインターバル**のリンクをタップします。

4. 次のタイムインターバルのいずれかを選択します。

- 最後の2時間
- 過去6時間
- 過去12時間
- 最後の24時間
- 昨日
- 最後の7日間

5. オプション。ブックマークに追加したビデオシーケンスの開始時間と終了時間の間のタイムインターバルをカスタマイズするには、をタップします。

6. フィルターを適用してブックマークの一覧に戻るには、以下を実行します。

- Android - 右上のをタップします。
- iOS - 右上の適用をタップします。

7. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、**すべてのフィルターをクリア**をタップします。

全画面でライブビデオを操作する

PTZ（パン/チルト/ズーム）コントロールとPTZプリセットを使用する

パン/チルト/ズーム（PTZ）カメラで閲覧している場合、（Android）または（iOS）をタップすることでPTZコントロールを使用できます。コントロールを一度タップすると、1ステップパンまたはズームします。

システム管理者がManagement ClientでPTZカメラのPTZプリセットを作成した場合は、PTZモードでデバイスのPTZプリセットを使用できます。PTZプリセット位置はビューの事前指定された位置です。

PTZプリセットにアクセスする方法は、デバイス上のオペレーティングシステムにより異なります。

- Android - をタップします。
- iOS - をタップします。

PTZプリセットリストで、プリセットを選択して使用を開始します。

ズームインまたはズームアウト

ズームインまたはズームアウトを実行し、ビデオを詳細に確認できます。

- ズームインするには、 をピンチアウトまたはタップします。

- ズームアウトするには、 をピンチインまたはタップします。

XProtect Mobileはデジタルズームを使用します。

画像の切り取りまたは画面に合わせたサイズ調整

スクリーンにイメージがフィットするようにリサイズしたり、切り取りが可能です。デフォルトでは、画像は画面に合わせて調整されています。

画像の外側の部分は削除されます。フルスクリーンでイメージを切り取るには、2度タップします。イメージのアスペクト値は維持されます。

ビューの他のカメラを表示する

ビューに他のカメラがある場合は、左右にスワイプし、ビデオを表示できます。

再生モードへの切替え

録画中に確認したいものがある場合は、再生モードに切り替えてビデオの確認または調査を開始することができます。

再生モードに切り替えるには、以下を実行します。

- Android -  をタップします。
- iOS -  をタップします。



調査中にライブビデオの監視を続けるには、 をタップしてPiPをオンにします。PiPオプションをオフにするには、 を再度タップします。

PiP（使用）

再生モードでPiPを使用する

調査したい対象が見つかっても、現在の状況の監視を中断したくない場合は、ライブビデオをピクチャ・イン・ピクチャ（PiP）に表示しながら、同時にビデオを再生できます。

1.  (Android) または  (iOS) をタップして、ライブモードから再生モードに切り替えます。
2. デバイスのオペレーティングシステムに応じて、以下のいずれかを実行します。

- Android -  をタップします。
- iOS -  をタップします。



ビデオ録画を表示中にこの機能を使用すると、PiPで受信音声を使用することはできません。



PiPウィンドウを移動するには、PiPウィンドウをタップ&ホールドし、画面上の希望の場所にドラッグします。

ライブビデオに戻る

ライブビデオを全画面表示するには、以下を実行します。

- PiPウィンドウをダブルタップします。
-  (Android) または  (iOS) をタップします。

バックグラウンドPiPを使用する

Androidユーザーの場合

モバイルデバイスで他のコンテンツを閲覧しながら、ライブビデオの表示を続けるには、以下を実行します。

1. アプリを最小化します。ピクチャーインピクチャー (PiP) ウィンドウが画面の右下に表示されます。PiPウィンドウをダブルタップして拡大します。



PiPウィンドウを移動するには、PiPウィンドウをタップ&ホールドし、画面上の希望の場所にドラッグします。

2. PiPアクションボタンを使用するには、PiPウィンドウをタップします。これで、次の操作ができます。

- バックグラウンドPiPを有効または無効にするには、をタップします。
- ブックマークを追加するには、をタップします。
- 全画面表示に戻るには、をタップします。
- PiPウィンドウを閉じるには、をタップします。

スナップショットの作成

ライブまたは再生モードでビデオを表示するとき、またはビデオクリップを調査したりブックマークするために再生している際に興味あるものを見つけたときは、デバイス上のコンテンツのスナップショットを撮ることができます。



十分なユーザー権限がなければ、XProtect Mobileアプリの使用時にスナップショットは撮れません。詳しくは、システム管理者に確認してください。

スナップショットはモバイルデバイスに保存されます。保存場所を変更できません。

- Android - /mnt/sdcard/MilestoneのデバイスのSDカードに保存されたスナップショットを表示します。
- iOS - **フォトライブラリ**でスナップショットを表示します。

スナップショットの作成方法

- Android - スナップショットボタンをタップします。
- iOS - スナップショットボタンをタップします。

録画が無い場合は、再生時にスナップショットボタンは無効になります。

ビデオ録画の検索と表示

再生モードでは、カメラから録画ビデオにアクセスできます。

カメラでビデオ録画を表示する

録画へのアクセス方法は、デバイスのオペレーティングシステムにより異なります。

1. カメラを含むビューで、カメラのプレビュー画像をタップします。
2.  (Android) または  (iOS) をタップします。
3. カメラから録画のリストを表示するには、以下を実行します。

- Android -  をタップします。
- iOS -  をタップします。

録画されたビデオの再生

タイムライン コントロールを使用し、録画されたビデオを再生します。コントロールはユーザーの操作に応じて表示/非表示になります。

-  - タップしてタイムピッカーを開くか、タイムラインをスクロールして、録画内の特定の時間に移動します（[69 ページの再生タイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。
-  - 再生速度を上げ/下げます。
-  (Android) または  (iOS) -  (Android) または  (iOS) をタップすると、ビデオを逆方向または順方向に再生したり、一時停止したりできます。
-  (Android) または  (iOS) - 前のシーケンスまたは次のシーケンスに移動します。
-  (Android) または  (iOS) - シーケンス内のひとつ先のフレームに進むか、ひとつ前のフレームに戻ります。

再生モードでは、以下も可能です。

-  - カメラから送られるライブビデオをPiPウィンドウで表示/非表示にします（[65 ページのPiP（使用）](#)を参照）。
-  (Android) または  (iOS) - ブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスのロケーションをすばやく見つけます（[57 ページのブックマーク（使用）](#)を参照）。



ユーザーの権限に応じて、ビデオ録画のタイムラインに追加されたブックマークを見つけることができます。

ビデオ録画の音声を再生します（マイクとスピーカーを接続してるカメラ）

録音された受信音声と送信音声を再生するには、 (Android) または  (iOS) をタップして音源リストを開き、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。

オプションは以下のとおりです。

-  **すべてのソース** - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します。
-  **マイク** - 受信音声のみを再生します
-  **スピーカー** - 送信音声のみを再生します
-  **音声オフ** (デフォルト)



音声の再生は、ビデオ録画が存在し、かつ録画を通常の速度で再生する場合にのみ可能です。

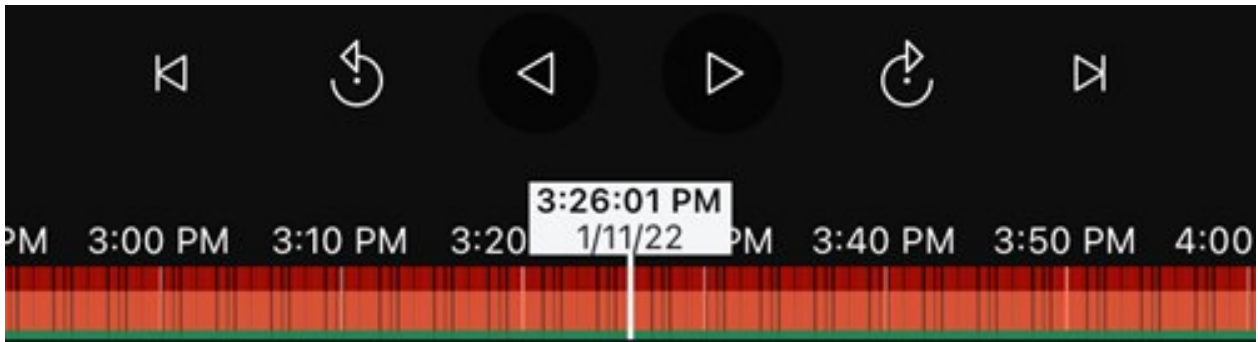
他の録画の読み込み

最近の履歴 (iOS) または **履歴** (Android) リストで、希望のシーケンスが見つからないものの、他の録画が存在する場合は、録画を追加で読み込み、調査を続けることができます。

- AndroidおよびiOS - **さらに読み込む**をタップします。

再生タイムラインの使用（説明付き）

再生タイムラインは、再生モード、調査、ブックマークで使用できます。

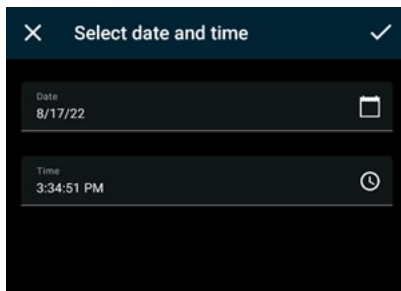


タイムラインバーでは、以下の操作が可能です。

- タイムライン コントロールを使用して、ビデオを順方向、逆方向に再生する、次のシーケンスに進む、前のシーケンスに戻る、またはシーケンス内の前後に1フレーム移動する。
- 再生速度を上げる/下げる。
- 録画の日時を指定する。

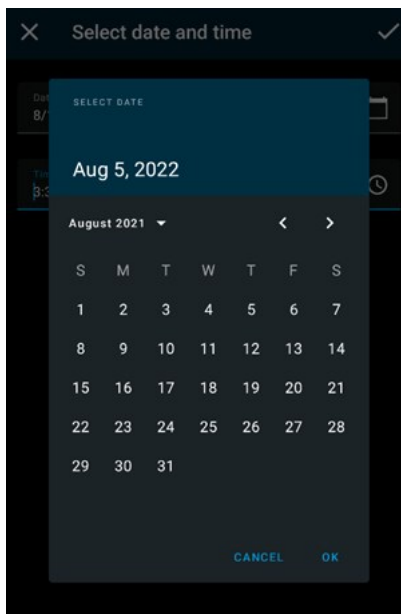
Androidユーザーの場合

1. タイムラインバーで時間表示をタップして、タイムピッカーを開きます。

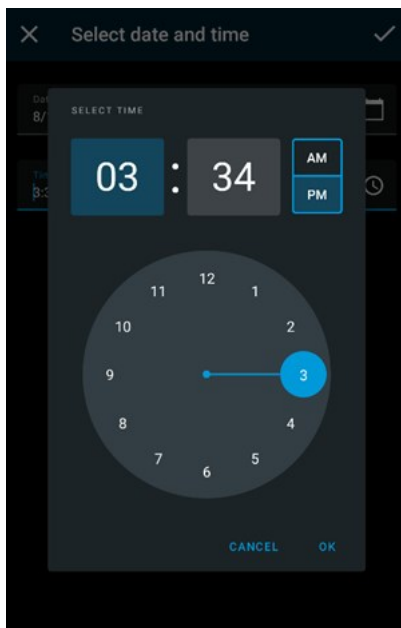


2. **日時の選択**画面で、以下の操作を行います。

-  をタップして日付を選択し、**OK**をタップします。日付フィールドに希望の日付を入力することもできます。



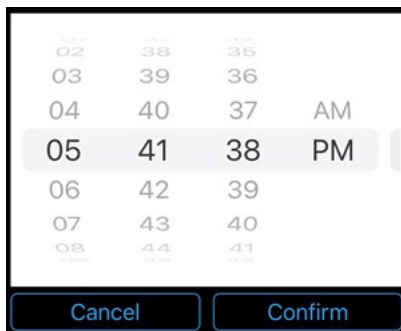
-  をタップして開始時間を選択し、**OK**をタップします。**時間**フィールドに希望の開始時間を入力することもできます。



- 変更を保存するには、 をタップします。選択した開始日時の録画が読み込まれます。

iOSユーザーの場合

1. タイムラインバーで時間表示をタップして、タイムピッカーを開きます。
2. 再生する記録の部分の開始時間を選択します。



3. **確定**をタップします。選択した開始時間の録画が読み込まれます。

AndroidおよびiOSユーザーの場合

- タイムラインバーで時間スクローラーを右または左にドラッグすると、再生したい録画の部分の開始時間を調整できます。タイムスクローラー中央の時間表示に選択された録画時間が示されます。時間スクローラーをドラッグすると、録画で現在選択しているフレームが表示されます。時間スクローラーのドラッグを止めると、選択した開始時間の再生録画が読み込まれます。



タイムラインに表示される最大期間は24時間で、フレームの間隔は4時間です。フレーム間の最小間隔は1分間です。

タイムラインの色分け

- 桃色は録画を示します。
- 赤はモーションを示します。
- 薄緑は受信音声を示します。
- 緑は送信音声を示します。

調査の表示または作成

XProtect Web Clientで調査を使用している場合は、XProtect Mobileを使用して、ビデオと調査を表示、作成できます。調査からビデオをプレビューできますが、モバイルデバイスにダウンロードすることはできません。

実行中の調査と完了した調査の表示

調査へのアクセス方法は、モバイル デバイスのオペレーティング システムにより異なります。



上から下へ調査のリストをスワイプすると、リストを素早く更新できます。リストの一番上を表示しておく必要があります。そうでない場合はスクロールします。

1. 調査へ移動するには、以下を実行します。
 - Android - **調査**をタップします。
 - iOS - **ナビゲーション**ペインでをタップします。
2. オプション：調査画面では、以下を行うことで調査対象にフィルターをかけることができます。
 - **個人の調査** - 自分の調査を表示します。
 - **すべての調査** - 他のユーザーが作成した調査と自分の調査を表示します。システム管理者に、この操作ができるようにしてもらう必要があります。
3. 調査の詳細を見るには、調査をタップします。

4. 調査でビデオを閲覧するには、以下を実行します。

- **カメラを表示**をタップします。



5. 調査で特定の期間に移動するには、タイムラインバーで  をタップし、時間ピッカーを開くか、タイムラインをスクロールして録画内の特定の時間に移動します（[69 ページの再生タイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。

調査の作成

調査を作成すると、モバイルデバイスではなく、接続先のモバイルサーバーにビデオが保存されます。デバイスでビデオを表示するには、サーバーに接続する必要があります。

1. 録画したカメラを見つけ、動画を最大化するためにプレビューイメージをタップします。

2.  (Android) または  (iOS) をタップし、以下を実行します。

- Android -  をタップします。

- iOS -  をタップします。

3. 調査期間を定義するための時間を指定します。

4. **作成**をタップします。

調査で音声を再生する

音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されたカメラで調査を作成した場合、通常のスピードで録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生できます（[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。

デバイスから監視システムにビデオをストリーミングする

システム管理者がManagement Clientでビデオプッシュを設定し、有効化した場合は、デバイスから監視システムに音声付ビデオをストリーミングすることができます。詳細については、[40 ページのモバイルデバイスからのビデオのストリーム（説明付き）](#)と[16 ページのビデオプッシュ使用の要件](#)をご参照ください。

ビデオプッシュのアクセスと使用方法は、デバイスのオペレーティングシステムによって異なります。

1. ビデオプッシュへのアクセス

- Android - 右下の  をタップします。

- iOS - ナビゲーションバーで  をタップします。

2. デバイスの前面カメラまたは背面カメラが撮影するビデオをストリーミングする

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

3. ビデオのストリーミング開始

- Android -  をタップします。
- iOS -  をタップします。

4. オプション。ビデオプッシュの音声を開始

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

5. オプション。ビデオプッシュの音声を停止

- AndroidおよびiOS -  をタップします。

6. 録画停止

- Android -  をタップします。
- iOS -  をタップします。

関心がある瞬間をブックマークに登録

後で調査したいものを見つけた場合は、デバイスから監視システムにビデオをストリーミングしているときに、ビデオ内の特定の瞬間をブックマークできます。

ブックマークを追加するには、以下を実行します。

- Android - 右上の  をタップします。
- iOS - 左上の **ブックマーク** をタップします。

ブックマーク画面では、追加したブックマークを表示、編集、削除することができます。詳細については、[57 ページのブックマーク（使用）](#)をご参照ください。

ストリームしたビデオの調査

XProtect Mobileはストリームするビデオを録画し、調査できるようにします。

1. ビデオプッシュカメラのビューに移動します。
2. カメラをタップして、全画面表示します。
3. 録画を再生するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。

4. タイムライン コントロールを使用して、ビデオを調査します。

アラームの表示とアクション

アラームは、カメラが作動しなくなった、ガラスが割れた、ブラックリストに登録されたナンバープレートがカメラに映ったなど、さまざまなイベントによってトリガーされます。



アラームを表示するには、アラームを設定して必要なユーザー権限を付与するようにシステム管理者に依頼します。

1. **アラーム**を開きます。
 - Android - **アラーム**をタップします。
 - iOS -  をタップします。
2. **すべてのアラーム**リストから、表示したいアラームを探し、タップしてアラームの詳細画面を開きます。

アラームの詳細画面で、以下を実行します。

1. 以下を表示または変更できます。
 - アラームのステータス
 - アラームを割り当てられた担当者
 - アラームの優先度
2. 以下も表示できます。
 - アラームをトリガーしたイベント
 - 発生時期
 - 追加の指示文（該当する場合）
 - アラームに関連するソースアクションの名前
3. アラームの詳細画面からソースカメラのビデオを直接再生するには、 でビデオのサムネイルをタップします。
4. アラームに関連づけられているカメラが複数ある場合は、関連づけられているカメラの表示についてのメッセージをタップしてグリッドビューを開き、すべてのカメラの録画を確認できます。
5. また、ソースカメラのビデオを再生モードで再生し、タイムライン コントロールを使用することもできます。そのためには、 (Android) または  (iOS) をタップして、ビデオ再生画面を開きます。
6. ソースカメラの位置をスマートマップで確認するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。

ビデオ再生画面では、以下の操作ができます。

1. タイムライン コントロールを使って、ビデオを再生、巻き戻しできます。また、ブックマークを追加して、録画内のシーケンスをすばやく見つけることもできます。
2. カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、録音された受信/送信音声を再生することができます（67 ページのビデオ録画の検索と表示を参照）。
3. 後でビデオを保存したり、他の人と共有するために調査を作成することができます。そのためには、（Android）または （iOS）をタップします。また、調査したい期間を定義するために時間を指定することもできます。次に、**作成**をタップします。
4. 視聴中のビデオのスナップショットを撮るには、（Android）または （iOS）をタップします。
5. PiPモードを有効にするには、（Android）または （iOS）をタップします。
6. このカメラのすべての録画リストに移動するには、（Android）または （iOS）をタップします。

アラームの確認

1. アラームの詳細画面で、（Android）または （iOS）をタップして、**すべてのアラーム**リストに戻り、確認したいアラームを見つけます。
2. アラームを左右にスワイプし、**確認**をタップします。



緊急アラート機能については、76 ページのXProtectMobileの緊急アラートを参照してください。

XProtect Mobileの緊急アラート



この機能が動作するには、プッシュ通知が必要です。プッシュ通知は、Milestone Care Plus ライセンスを購入した場合にのみ利用できます。



この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能に関するリストをご確認ください。リストは、Milestoneウェブサイト（<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>）の製品概要ページにあります。



緊急アラートは、一定の条件が満たされたときに作動するアラームの一種です。これらの条件は、組織によって定義されたポリシーに基づいており、システム管理者によってXProtect Management Clientで設定されたアラームカテゴリと定義に反映されています。詳細については、システム管理者に問い合わせるか、XProtectVMS のシステム管理者マニュアルのアラームデータ設定のセクションを参照してください。



ユーザー権限についてご不明な点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

潜在的な脅威が検知された場合、緊急アラートにより最重要レベルのアラーム通知の受信や、アラーム詳細が表示でき、迅速な対応が可能になります。

緊急アラートを受信したら、アラームの詳細画面で以下の操作を行います。

1. ビデオのサムネイルの  をタップして、ソースカメラのビデオを再生します。
2. この画面で必要なアクションを取ります。
 - **アラームを確認**をタップして、アラームのステータスを**処理中**に変更します。また、アラームの詳細を表示したり、 (Android) または  (iOS) をタップしてビデオを再生モードで再生し、タイムラインコントロールを使用することもできます。詳細については、[75 ページのアラームの表示とアクション](#)をご参照ください。
 - アラームを拒否して閉じるには、**誤検知としてマーク**をタップします。アラームが誤検知であると確信できる場合のみ、このオプションを選択してください。使用には注意が必要です。
3. ソースカメラの位置をスマートマップで確認するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。

XProtect Mobileでアクションを使用する

システム管理者が権限を付与した場合は、必要に応じて、アクションをトリガーできます。クライアントでは、アクションは、有効化できる出力およびイベントです。たとえば、次のことができます。

- 録画を開始または停止します。
- 別のフレームレートに切り替えます。
- SMSおよび電子メールによる通知をトリガーします。
- PTZカメラをPTZプリセット位置に移動します。
- ハードウェア出力を有効化します。

アクションの表示と起動

複数の場所でアクションを表示して起動できます。

- ビューの一覧
- ライブビデオを表示しているとき
- **アクション画面**

アクション画面でアクションを表示する

1. **出力**と**イベント**別にグループ化されたアクションのリストを表示するには、以下を実行します。

- Android - **アクション**をタップします。
- iOS - をタップします。

アクションのトリガー

1. アクションをトリガーする方法は2通りあります。

- AndroidとiOS - アクションの一覧でアクションをタップし、そのアクションをトリガーすることを確認します。
- AndroidとiOS - ライブモードで、カメラツールバーの (Android) または (iOS) をタップし、カメラに関連づけられたトリガーするアクションを選択します。

通知に応答する

XProtect Mobileは、アプリを使用していない時でも、注意が必要な情報がある場合に通知を行うことができます。例えば、アラームがトリガーされると、システムが通知します。

すぐにまたは後で応答

すぐに応答するには、通知をタップしてXProtect Mobileを開き、何が起こったのかを調べます。このときに、XProtect Mobileは通知を保存しません。

すぐに応答したくない時は、通知を後で見ることができます。

- Android - **通知領域**に移動します。通知ドロワーを開き、詳細を表示します。
- iOS - ロック画面または**通知センター**に移動します。

ドア表示して対応する

ドアのステータス（例：**閉**、**ロック解除**）のチェック、ライブビデオの表示、ドアをモニターしているカメラから録画されたビデオの再生を行うことができます。カメラに音声デバイスが接続されている場合は、以下も可能です。

- ライブモードで受信音声を再生し、プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用します。
- 再生モードで受信音声と送信音声を再生します。

ドアのステータスによって、ドアをロックまたはロック解除できます。



ロックおよびロック解除が標準オプションですが、他のコマンドが入退室管理システムで定義されている場合があります。

1. **入退室管理**を開きます。

- Android - **入退室管理**タブをタップしてから  をタップし、**ドア**を選択します。
- iOS -  をタップしてから **ドア**をタップします。

ドアのリストが表示されます。

2. 表示したいドアをタップします。

3. ドアをモニターしているカメラからライブモードでビデオを見ます。

4. オプション。受信音声の再生を開始するには、（Android）または （iOS）をタップします。音声の再生を停止するには、（Android）または （iOS）をタップします（マイクを接続しているカメラのみ）。

5. オプション。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、 をタップして長押しします。音声の送信を停止するには、 アイコンから手を放します（スピーカーを接続しているカメラのみ）。

6. 必要に応じて、ドアを**ロック**または**ロック解除**します。ドアのステータスが変わります。

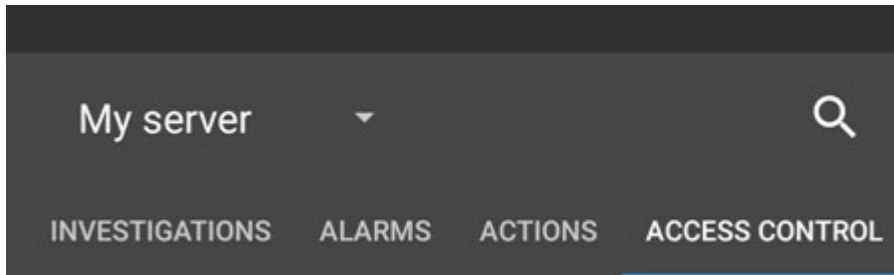
7. ビデオを再生するには、ライブ画像をタップしてから （Android）または （iOS）をタップします。再生モードでも、ライブモードでビデオストリームを見ることができます。

8. オプション。カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常で速度でビデオ録画を順再生すれば、録音された受信/送信音声を再生することができます（[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。

アクセスリクエストへの対応

誰かがドアコントローラーを使用して建物に入ろうとしたもののアクセスが拒否されると、あなたのアプリにアクセスリクエストが送信されます。入退室管理システムにより、ドアを開けてその人を建物に入れるなどして対応することができます。

1. プッシュ通知をサポートする VMS を使用している場合は、通知バーからアクセスリクエストを開きます。これは Android タブレットの例です。iOS では表示が異なる場合があります。



または

1. アプリを開き、サーバーリストから接続したいサーバーをタップします。
2. **入退室管理**を開きます。
 - Android-**入退室管理**タブをタップしてから  をタップし、**アクセスリクエスト**を選択します。
 - iOS -  をタップしてから**アクセスリクエスト**をタップします。
3. アクセスリクエストをタップして開きます。アクセスリクエストを開くと、以下を見ることができます。
 - ドアのカメラからのライブビデオ。
 - 建物に立ち入ろうとしている人物の詳細。



アクセスリクエストは2分後にリストから消えます。このイベントは**イベント**リストで確認できます。

4. カメラを切り替えるには、画面上のライブイメージをスワイプします。3台以上ある場合は、数回スワイプします。
5. オプション。受信音声の再生を開始するには、 (Android) または  (iOS) をタップします。
音声の再生を停止するには、 (Android) または  (iOS) をタップします（マイクを接続しているカメラのみ）。
6. オプション。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、 をタップして長押しします。音声の送信を停止するには、 アイコンから手を放します（スピーカーを接続しているカメラのみ）。
7. これでドアを**ロック**または**ロック解除**できます。

8. カードホルダーが入ろうとしたとき、あるいはその前にビデオを再生するには、以下を実行します。

1. ライブ画像をタップします。大きい画面にライブビデオフィードが表示されます。
2. 再生モードに切り替えるには、 (Android) または  (iOS) をタップします。切り替えたビューでも一番上にライブビデオを表示できます。
3. オプション。カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常でビデオ録画を順方向に再生すると、録音された受信/送信音声を再生できます（「[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)」を参照）。

入退室管理イベントの調査

過去1時間に誰が建物に立ち入ったのか、誰が入室を拒否されたのかを確認できます。他の入退室管理イベントとしては、**ドアコントローラーの破壊工作**や、**ドアコントローラーの電源障害**などがあります。そのようなイベントは、入退室管理システムで定義されます。



デフォルトでは、過去30日間のすべての入退室管理イベントが表示されます。

1. **入退室管理**を開きます。
 - Android - **入退室管理**タブをタップしてから  をタップし、**イベント**を選択します。
 - iOS -  をタップしてから **イベント**をタップします。
2. オプション。イベントがリストにない場合は、リストの下部にある**さらに読み込む**をタップして、さらにイベントを表示します。
3. イベントをタップして詳細を表示します。たとえば、イベントが**ドアロック中**の場合は、**ドアを表示**をタップしてドアの状態を確認したり、ドアをロック/ロック解除したりします。
4. イベント発生時に録画したビデオを再生するには、以下を実行します。
 - Android -  をタップします。
 - iOS -  をタップします。
5. オプション。カメラに音声デバイス（マイクとスピーカー）が接続されている場合、通常でビデオ録画を順方向に再生すると、双方向の録音音声を再生できます（[67 ページのビデオ録画の検索と表示](#)を参照）。



helpfeedback@milestone.dk

Milestone について

Milestone Systems はオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア（VMS）の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systems は、世界の 15 万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systems は、1998 年創業、Canon Group 傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

